

電源立地地域対策交付金（市町事業）

番号	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備 考
1	地域内移動網バス運営事業	福井市	5,758,691	4,700,000	
2	御食国若狭おばま食文化館維持運営事業	小浜市	14,016,415	11,554,000	
3	小浜市社会教育施設維持運営事業	小浜市	52,978,619	49,271,000	
4	小浜市学校教育施設維持運営事業	小浜市	63,792,457	47,096,000	
5	舗装補修事業	大野市	13,739,000	12,000,000	
6	市営バス和泉3線車両の購入事業	大野市	4,034,000	3,320,000	
7	阪谷第一簡易水道施設改良事業	大野市	14,971,000	12,800,000	
8	あっ宝んど施設修繕事業	大野市	3,852,200	3,852,200	
9	真名川憩いの島トイレ新築事業	大野市	1,050,500	880,000	
10	真名川憩いの島トイレ新築事業（用地購入）	大野市	531,957	500,000	
11	大野市図書館維持運営事業	大野市	13,502,827	7,600,000	
12	公立保育園維持運営事業	大野市	41,638,204	30,139,000	
13	図書館維持運営事業	勝山市	19,460,830	19,144,000	
14	越前市防災行政無線施設運営事業	越前市	1,320,000	1,200,000	

15	越前市防災行政無線管理事業	越前市	1,722,336	1,492,000	
16	越前市子ども広場事業	越前市	6,829,074	2,194,000	
17	学校給食施設維持運営事業	坂井市	5,089,800	4,700,000	
18	永平寺子育て支援施設維持運営事業	永平寺町	13,712,100	11,200,000	
19	池田町なかよしこども園維持運営事業	池田町	10,680,920	7,956,000	
20	南条こども園維持運営事業	南越前町	38,403,800	27,449,000	
21	河野北前船主通り魅力向上ブランド発信事業	南越前町	1,910,700	1,700,000	
22	花はす公園リニューアル事業	南越前町	3,454,000	3,100,000	
23	花はす温泉そまやま設備更新事業	南越前町	6,765,000	6,400,000	
24	やすらぎ温泉源泉ポンプ入替修繕事業	南越前町	4,478,100	3,800,000	
25	今庄地区消雪施設更新事業	南越前町	3,432,000	3,400,000	
26	除排雪機械整備事業補助金	南越前町	6,000,000	5,000,000	
27	河野小学校空調整備事業	南越前町	4,303,200	4,200,000	
28	桜橋総合運動公園設備改修事業	南越前町	7,128,000	6,900,000	
29	町道長沢中小屋線排水路整備事業	南越前町	4,400,000	3,700,000	

30	鋳物師排水路洪水対策事業	南越前町	5,170,000	4,800,000	
31	町道岩谷線道路改良事業	南越前町	4,840,000	4,400,000	
32	南条保健福祉センター多目的広場空調整備事業	南越前町	21,692,000	17,000,000	
33	今庄中学校体育館照明取替事業	南越前町	9,460,000	7,536,000	
34	南越前町広域観光推進事業基金造成事業	南越前町	22,800,000	22,800,000	
35	定置・底曳網漁業振興対策事業	越前町	49,999,000	16,666,000	
36	観光施設管理運営事業（越前がにミュージアムマーケット棟管理用備品購入）	越前町	5,500,000	5,500,000	
37	管理公社管理観光施設改修事業（越前がにミュージアム修繕工事）	越前町	15,070,000	13,197,000	
38	管理公社管理観光施設改修事業（越前がにミュージアムかに水槽用電動弁取替工事）	越前町	1,650,000	1,095,000	
39	管理公社管理観光施設改修事業（越前温泉露天風呂漁火修繕）	越前町	3,190,000	2,700,000	
40	管理公社管理観光施設改修事業（越前温泉露天風呂日本海修繕）	越前町	6,875,000	6,875,000	
41	給付金交付事業	越前町	26,340,895	26,340,895	
42	簡易水道事業（菅浜簡易水道建設改良事業）	美浜町	43,786,000	34,500,000	
43	美浜町上水道統合整備事業基金造成	美浜町	127,500,000	127,500,000	
44	若狭町社会教育施設維持運営事業	若狭町	26,572,955	21,800,000	

45	パレア若狹維持運営事業	若狹町	19,093,634	14,430,000	
46	若狹町保育所維持運営事業	若狹町	156,183,052	147,374,000	

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	地域活性化措置	地域内移動網バス運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		福井市		
交付金事業実施場所		福井市（美山地域）		
交付金事業の概要		交通空白地域となっている集落が多い美山地域にて、コミュニティバスを運行することで交通空白地域を解消し、高齢者を中心とした交通弱者の生活交通を確保します。また、移動手段の充実により外出機会や活動機会を増加させ、地域の活性化を図ります。 コミュニティバス（1台）の運行業務委託及び適正な運行に必要な維持管理に要する費用に対し補助金を充当し、事業運営を行いました。		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関する主要政策・施策 第七次総合計画（平成29年度～33年度） 政策02 地域の特色を活かし魅力的で活力のあるまちをつくる 施策05 地域の生活を支える利便性の高い交通システムを構築する 事業の方向性051 地域の交通システム構築 ・路線バスではカバーできない集落を対象に、低料金で利用できるバスを運行することで、高齢者の外出機会の増加等、生活利便性の向上を図る。 目標： 地域バス運行地区住民一人当たりの年間利用回数 1.19回（令和2年度）		
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由		—		

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和2年度
	年間利用者数4,080人/年	年間利用者数	成果実績	人/年	2,802	
			目標値	人/年	4,080	
			達成度	%	68.7%	
	評価年度の設定理由					
	—					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	令和2年度の利用者数は2,802人で感染症対策としての外出自粛の影響を受け目標を下回ったが、地域住民にとって重要な移動手段として広く活用されています。また、利用者アンケートでは、本事業により人と話す機会が増えたとの回答が60%となっており、外出機会の増加や地域活性化に寄与していると考えられます。今後も沿線施設と連携を強化しつつ、事業を安定的に実施することで住民の移動手段確保に努めます。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	30年度	元年度	2年度
	活動台数		活動実績	台	1	1
			活動見込	台	1	1
			達成度	%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等	30年度	元年度		2年度	備 考	
総事業費	6,117,953	5,952,145		5,758,691	17,828,789	
交付金充当額	4,700,000	4,700,000		4,700,000	14,100,000	
うち文部科学省分	0	0		0	0	
うち経済産業省分	4,700,000	4,700,000		4,700,000	14,100,000	
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
バス運行業務委託		一般競争入札		京福バス株式会社 (福井市)		4,851,000
燃料購入		随意契約（小額）		福井県石油業協同組合 (福井市)		512,757
車両点検・修繕		随意契約（小額）		京福バス株式会社 (福井市)		263,726
タイヤ購入		随意契約（小額）		入場タイヤ株式会社 (福井市)		131,208
交付金事業の担当課室		福井市都市戦略部地域交通課				
交付金事業の評価課室		福井市都市戦略部地域交通課				

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
2	地域活性化措置	御食国若狭おばま食文化館維持運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		小浜市
交付金事業実施場所	小浜市川崎	
交付金事業の概要	「御食国若狭おばま食文化館」を適正に維持運営し、商工業・農林漁業等の振興を図り、地域の活性化と交流人口の拡大を図るため、職員7名・9か月分の人件費に本交付金を活用しました。	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第5次小浜市総合計画（平成23年度～令和2年度） 第3章 夢を生み出す魅力ある産業・観光のまちをめざして 第1節 観光・交流活動の振興 第1項 観光 第3号 食を活かした観光施策の推進 ・食のまちづくりを推進する本市において、御食国若狭おばま食文化館はその拠点施設であると同時に、多くの観光客が立ち寄る、若狭おばまの魅力を紹介するインフォメーション機能を持つ中核施設としての役割も果たしています。 また、本市独自の取組である「キッズ・キッチン」等食育事業を推進するとともに、食育と観光を結びつけた食育ツーリズムに取り組むことで、食文化・観光等の情報発信の拠点施設としての機能強化を図り、更なる地域の活性化と交流人口の拡大を目指します。 【目標】 食文化館来館者数 225,000人（令和2年度）	

事業開始年度	令和2年度		事業終了（予定）年度		令和2年度
事業期間の設定理由	—				
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和2年度
	来館者数 225,000人	「御食国若狭おばま食文化館」の来館者数	成果実績	人	59,707
			目標値	人	225,000
			達成度	%	26.5%
	評価年度の設定理由				
	—				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	本市独自の取組である「キッズ・キッチン」等食育事業を推進するとともに、食育と観光を結び付つけた食育ツーリズムに取り組むことで、食文化・観光等の情報発信の拠点施設としての機能強化を図りましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための4月～5月の休館や予定していたイベントの開催中止等の要因により、来館者数は59,707人となりました。一方で、県内の学校が修学旅行先の目的地として利用していただく機会が増えたことから、今後は、団体旅行の誘致に力を入れ、本市の食文化や食育事業のPRを積極的に行うとともに、食育に関する講演会の開催や本市の特色である「食」をテーマにしたイベントの開催等に取り組み、交流人口の拡大による来訪客増を図ります。				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	30年度	元年度	2年度
	職員の雇用量 (雇用人数(人) × 雇用 期間(月))		活動実績	人月	84	63	63
			活動見込	人月	84	63	63
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費 等	30年度		元年度		2年度		備 考
総事業費	20,106,900		15,176,700		14,016,415		49,300,015
交付金充当額	12,097,000		13,322,000		11,554,000		36,973,000
うち文部科学省分	0		0		0		0
うち経済産業省分	12,097,000		13,322,000		11,554,000		36,973,000
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
人件費		雇用		職員		14,016,415	
交付金事業の担当課室		小浜市食のまちづくり課					
交付金事業の評価課室		小浜市財政課					

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
3	地域活性化措置	小浜市社会教育施設維持運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		小浜市	
交付金事業実施場所	小浜市大手町ほか12件 小浜市内社会教育施設（小浜市文化会館、小浜市立図書館、小浜公民館、雲浜公民館、西津公民館、国富公民館、宮川公民館、松永公民館、遠敷公民館、今富公民館、口名田公民館、中名田公民館、加斗公民館）		
交付金事業の概要	市内社会教育施設を健全に維持運営し、市民の福祉の向上を図るため、職員32名・9か月分の人件費および10施設・9か月分の電気料金に本交付金を充当しました。		

交付金事業に係る 都道府県又は市町村の 主要政策・施策とその 目標	第5次小浜市総合計画（平成23年度～令和2年度） 第1章 夢と誇りあふれる人を育むまちをめざして 第2節 社会教育の充実 第1項 社会教育 第2号 活動拠点の充実 第5節 伝統と文化の承継と創造 第1項 市民文化 第2号 施設の充実と活用 ・小浜市文化会館は市民の文化振興の拠点として、小浜市立図書館は図書、記録その他の必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設として、地区公民館は小浜市の社会教育の振興、生涯学習の拠点および地域活動の拠点施設として、それぞれ幅広く利用されています。 今後も、これらの施設を適正に管理し、社会教育、文化の拠点として地域住民に有効活用されることにより、地域の活性化に寄与します。 【目標】 文化会館・公民館利用者数 158,000人（令和2年度） 図書館貸出冊数90,000冊（令和2年度）		
事業開始年度	令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由	—		

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和2年度
	利用者数 158,000人	文化会館・ 公民館利用 者数	成果実績	人	69,140	
			目標値	人	158,000	
			達成度	%	43.7%	
	貸出冊数 90,000冊	図書貸出冊 数	成果実績	冊	68,058	
			目標値	冊	90,000	
			達成度	%	75.6%	
	評価年度の設定理由					
	—					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	文化会館については、市と市民との協働による運営を進めることで文化芸術活動の振興を図ることができ、利用者数は20,356人となりました。また、公民館については、地域の生涯学習の拠点施設としての機能に加え、地域の個性を活かしたふるさとづくりに取り組むことで地域の活性化を図ることができ、利用者数は48,784人となりました。図書館については、貸出冊数は68,058冊となり、利用者に図書等の情報提供をすることで生涯学習の推進に寄与しました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響による4月～5月の休館、イベント、催し物等の自粛などの要因により目標および前年度を下回る結果となりました。そのため、今後は、感染症対策に努め、より一層、地域住民に積極的に有効活用していただけるよう各施設を最善・最適の状態で維持・保全し、利用者増を図ります。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	30年度	元年度	2年度
	職員の雇用量 (雇用人数(人)×雇用 期間(月))		活動実績	人月	288	225	287
			活動見込	人月	288	216	288
			達成度	%	100.0%	104.1%	99.6%
	電気料金の充当量 (充当施設数(施設)× 充当月(月))		活動実績	施設月	99	81	90
			活動見込	施設月	99	81	90
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費 等	30年度		元年度		2年度		備 考
総事業費	52,450,661		37,967,262		52,978,619		143,396,542
交付金充当額	31,350,000		34,954,000		49,271,000		115,575,000
うち文部科学省分	0		0		0		0
うち経済産業省分	31,350,000		34,954,000		49,271,000		115,575,000
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
人件費		雇用		職員		8,669,100	
人件費		雇用		会計年度任用職員		38,536,018	
電気料金		随意契約		関西電力(株) (京都府京都市)		5,773,501	
交付金事業の担当課室		小浜市文化課、生涯学習スポーツ課					
交付金事業の評価課室		小浜市財政課					

事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
4	地域活性化措置	小浜市学校教育施設維持運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		小浜市	
交付金事業実施場所	小浜市駅前町ほか10件 小浜市内学校教育施設（小浜小学校、雲浜小学校、西津小学校、内外海小学校、今富小学校、口名田小学校、中名田小学校、加斗小学校、小浜美郷小学校、小浜中学校、小浜第二中学校）		
交付金事業の概要	市内学校教育施設を健全に維持運営し、青少年の健全育成を図るため、用務員1名と調理員32名（11施設）・9か月分の人件費および11施設・9か月分の施設電気料金に本交付金を充当しました。		

交付金事業に関する 都道府県又は市町村の 主要政策・施策とその 目標	第5次小浜市総合計画（平成23年度～令和2年度） 第1章 夢と誇りあふれる人を育むまちをめざして 第1節 学校教育の充実 第2項 学校教育 第1号 小・中学校教育内容の充実 第2号 教育施設および設備の充実 ・小浜市内の各小中学校に職員を確保することで、自校炊飯の実施や校区内の地場産食材を利用した学校給食の実施など市独自の学校給食の取り組みが全校で実施されており、地域の特色を活かした魅力ある教育が展開されています。 今後も、これらの施設を適正に管理し、教育の拠点として有効活用されることにより、青少年の健全育成に寄与します。 【目標】 市独自の学校給食の取り組み校数 全校（11校）		
事業開始年度	令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由	—		

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和2年度
	市独自の学 校給食の取 り組み校数 全校（11 校）	市独自の学 校給食の取 り組み校数 ：自校炊飯 の実施校数	成果実績	校	11	
			目標値	校	11	
			達成度	%	100.0%	
	評価年度の設定理由					
	—					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	市内の各学校教育施設に職員を確保することで、自校炊飯の実施や校区内の地場産食材を利用した学校給食の実施など市独自の学校給食の取組が全校（11校）で実施でき、青少年の健全育成に大きく寄与しました。今後も、市独自の学校給食の取組が全校で実施されるよう、給食調理員が一定数を下回らないよう人材確保に努めます。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	30年度	元年度	2年度
	職員の雇用量 (雇用人数(人)×雇用 期間(月))		活動実績	人月	444	307	255
			活動見込	人月	540	378	306
			達成度	%	82.2%	81.2%	83.3%
	電気料金の充当量 (充当校数(校)×充当 月(月))		活動実績	施設月	154	99	99
			活動見込	施設月	154	99	99
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費 等		30年度	元年度		2年度	備 考	
総事業費		89,485,257	63,580,986		63,792,457	216,858,700	
交付金充当額		57,896,000	62,622,000		47,096,000	167,614,000	
うち文部科学省分		0	0		0	0	
うち経済産業省分		57,896,000	62,622,000		47,096,000	167,614,000	
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
人件費		雇用		職員		2,580,109	
人件費		雇用		会計年度任用職員		34,368,479	
電気料金		随意契約		関西電力(株) (京都府京都市)		26,843,869	
交付金事業の担当課室		小浜市教育総務課					
交付金事業の評価課室		小浜市財政課					

事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
5	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	舗装補修事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市		
交付金事業実施場所	大野市 春日 地係、篠座 地係 （市道 大野駅春日木本線、大桜篠座上線）			
交付金事業の概要	損傷の激しい市道について、補助金を活用し公共下水道事業と連携して舗装補修を行うことで、市民の生活道路の安全性及び利便性を確保しました。 ・大野駅春日木本線、大桜篠座上線 R2:L798.2m 土工1式 表層工 A=2,815㎡ 不陸整正工 A=2,815㎡ 区画線設置工 1式			
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第五次大野市総合計画後期基本計画（平成28年度～令和2年度） 基本施策：人にやさしい道路環境の創出 施策：生活道路の管理と整備 目標：損傷した市道の適切な補修による生活道路の安全性及び利便性の確保し、住民からの苦情の件数を0件にします。			
事業開始年度	令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度	
事業期間の設定理由	—			

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和3年度
	住民からの 苦情報告件 数0件	住民から市 役所への当 該道路への 苦情件数	成果実績	件				
			目標値	件	0			
			達成度	%	0%			
	評価年度の設定理由							
	事業完了後に成果指標の評価が可能になるため。							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	—							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無								
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度	
	大野駅春日木本線ほか1 路線 L=798.2m		活動実績	m	798			
			活動見込	m	798			
			達成度	%	100.0%			
交付金事業の総事業費 等	2年度	年度		年度		備 考		
総事業費	13,739,000							
交付金充当額	12,000,000							
うち文部科学省分	0							
うち経済産業省分	12,000,000							

交付金事業の契約の概要			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	舗装補修工事	一般競争入札	株式会社 土本組 (大野市)
交付金事業の担当課室	大野市建設整備課		
交付金事業の評価課室	大野市建設整備課		

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
6	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市営バス和泉３線車両の購入事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市		
交付金事業実施場所		大野市一円		
交付金事業の概要		市営バス和泉３線は、和泉地区内や和泉地区と大野市街地間の移動手段の確保を担っており、特に移動制約者にとっては欠かせない路線となっております。しかしながら、当該路線は、大野市の中でも特に積雪が多い和泉地区を主に運行しており、現行車両は融雪剤による車体本体の腐食や老朽化（購入から１８年経過、走行距離は279,145km）による損傷が激しいことから、地域住民の安全性と利便性確保のため車両の更新事業に本補助金を活用します。		
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第五次大野市総合計画後期基本計画（平成28年度～令和2年度） 基本施策：公共交通手段の確保 施策：バス運行の充実 目標：市営バス和泉３線の年間乗客数 3,500人（令和2年度） （全体：大野市内バスの年間乗客数 36,000人（令和2年度））		
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由		—		

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和2年度
	市営バス和 泉3線の年 間乗客数 3,500人	年間乗客数 3,500人	成果実績	人	3,237			
			目標値	人	3,500			
			達成度	%	92.5%			
	評価年度の設定理由							
	—							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	老朽化による損傷が激しかった市営バスの更新を行うことができ、利用者に対して安全、安心な運行を確保することができました。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通の利用者数が軒並み減少している中、和泉3線は昨年より113人増となりました。次年度も和泉3線での利用促進を図っていきます。							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度	
	バス車両の更新 (1台)	活動実績	台	1				
		活動見込	台	1				
		達成度	%	100.0%				

交付金事業の総事業費等	2年度	年度	年度	備 考
総事業費	4,034,000			
交付金充当額	3,320,000			
うち文部科学省分	0			
うち経済産業省分	3,320,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
車両購入	指名競争入札	有限会社タッカー (大野市)	4,034,000	
交付金事業の担当課室	大野市交通住宅まちづくり課			
交付金事業の評価課室	大野市交通住宅まちづくり課			

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
7	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	阪谷第一簡易水道施設改良事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市		
交付金事業実施場所		大野市 蓑道 地係		
交付金事業の概要		安全で安心な飲料水を継続的に供給するとともに、今後必要となる施設更新費と維持管理費の縮減を図ります。 取水井及びポンプの整備 ・水源さく井工（SVP 300A×50m） 1式 ・ポンプ室工 1式 ・ポンプ整備工（φ50×35m×2.2KW×200V） 1式		
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		主要施策 第5次大野市総合計画 基本施策17 快適な生活関連の基盤整備 水道の整備 目 標 施設更新・維持管理費の縮減 維持費C=200千円/年減		
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由		—		

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和3年度		
	維持費 C=200千円/ 年減	電気料やポンプの維持 管理費用	成果実績	円			
			目標値	円	2, 000, 000		
			達成度	%	0. 0%		
	評価年度の設定理由						
	事業完了後に成果指標の評価が可能になるため。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	取水井及びポンプが整備されたことにより、今後も安全で安心な飲料水を市民に継続的に供給することが可能になりました。また、今後必要となる施設更新費と維持管理費についても縮減が見込まれます。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度
	取水井及びポンプ整備 1 式	活動実績	台	1			
		活動見込	台	1			
		達成度	%	100. 0%			

交付金事業の総事業費等	2年度	年度	年度	備 考
総事業費	14,971,000			
交付金充当額	12,800,000			
うち文部科学省分	0			
うち経済産業省分	12,800,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
施設改良工事	一般競争入札	(有) 乾川設備工業 (大野市)	14,971,000	
交付金事業の担当課室	大野市上下水道課			
交付金事業の評価課室	大野市上下水道課			

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
8	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	あっ宝んど施設修繕事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市		
交付金事業実施場所		大野市南新在地係		
交付金事業の概要		大野市健康保養施設あっ宝んどの適切な管理運営のため、必要な施設修繕を行います。 厨房等空調改修修繕（厨房フードコート１台、厨房１台、休憩室１台）		
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第５次大野市総合計画（平成23年度～平成32年度）基本目標 共に思いやり支え合う安全で安心な町 基本施策９ 保健予防と地域医療の推進 市民の健康づくり及び交流体験の場を提供していくことで市民の健康増進を一層推進します。 目標：健康保養施設（あっ宝んど）年間利用者数165,000人		
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由		—		

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和2年度
	年間利用者 数 165,000人	年間利用者 数	成果実績	人	117,096			
			目標値	人	156,000			
			達成度	%	75.1%			
	評価年度の設定理由							
	—							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	当該施設および設備の修繕等を行うことにより、施設の長寿命化を図るとともに、利用者の健康増進に寄与することができました。							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無								
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度	
	厨房等空調改修修繕 ・厨房（フードコート） 1台 ・厨房（奥）1台 ・休憩室1台		活動実績	台	3			
			活動見込	台	3			
			達成度	%	100.0%			

交付金事業の総事業費等	2年度	年度	年度	備 考
総事業費	3,852,200			
交付金充当額	3,852,200			
うち文部科学省分	0			
うち経済産業省分	3,852,200			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
改修修繕	指名競争入札	(株)マエガワ（大野市）	3,852,200	
交付金事業の担当課室	大野市健康長寿課			
交付金事業の評価課室	大野市健康長寿課			

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
9	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	真名川憩いの島トイレ新築事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市		
交付金事業実施場所		大野市中保地係		
交付金事業の概要		現在、真名川憩いの島（市屋外体育施設）には富田大橋下流側の左岸堤防外側にトイレが1カ所ありますが、富田大橋上流側の特にマレットゴルフ場から当該トイレまでは500m以上距離があり大変不便な状況です。そのため、真名川憩いの島富田大橋上流側の左岸堤防外側にトイレ1棟（男子小便器2、女子便器1、多目的トイレ1）を新設し、施設利用者の利便性向上を図ります。		
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第五次大野市総合計画後期基本計画（平成28年度～令和2年度） 基本施策：活力あふれるスポーツ社会の実現 施策：スポーツ施設の整備と充実 目標：真名川憩いの島年間利用者数 15,000人（令和3年度）		
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度	令和3年度
事業期間の設定理由		工事施工期間を設定		

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和4年度		
	年間利用 者数 15,000人	年間利用 者数	成果実績	人			
			目標値	人	15,000		
			達成度	%	0.0%		
	評価年度の設定理由						
	事業完了後に成果指標の評価が可能になるため。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	令和2年度の年間利用者数は、5,947人と昨年度比▲3,302人となり、目標の15,000人を大きく下回っている状況です。この原因としては、新型コロナウイルス感染症により4,5月と施設利用が休止されたことや、大会等が中止になったことが挙げられます。令和3年度も新型コロナウイルスによる影響が懸念されるところではありますが、大会や教室等を開催するなどし利用者数の増加を図っていきます。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度
	トイレ新築 令和2年度：実施設計 令和3年度：建築		活動実績	件	1		
			活動見込	件	1		
			達成度	%	100.0%		

交付金事業の総事業費等	2年度	年度	年度	備 考
総事業費	1,050,500			
交付金充当額	880,000			
うち文部科学省分	0			
うち経済産業省分	880,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
実施設計	指名競争入札	(有) 西川建築設計事務所 (大野市)	1,050,500	
交付金事業の担当課室	大野市スポーツ推進課			
交付金事業の評価課室	大野市スポーツ推進課			

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
10	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	真名川憩いの島トイレ新築事業（用地購入）	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市	
交付金事業実施場所		大野市 中保 地係	
交付金事業の概要		現在、真名川憩いの島（市屋外体育施設）には富田大橋下流側の左岸堤防外側にトイレが1カ所ありますが、富田大橋上流側の特にマレットゴルフ場から当該トイレまでは500m以上距離があり大変不便な状況です。そのため、真名川憩いの島富田大橋上流側の左岸堤防外側にトイレ1棟（男子小便器2、女子便器1、多目的トイレ1）を新築するための、用地購入に本補助金を活用しました。	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第五次大野市総合計画後期基本計画（平成28年度～令和2年度） 基本施策：活力あふれるスポーツ社会の実現 施策：スポーツ施設の整備と充実 目標：真名川憩いの島年間利用者数 15,000人（令和3年度）	
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度 令和3年度
事業期間の設定理由		工事施工期間を設定	

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和4年度		
	年間利用者 数 15,000人	年間利用者 数	成果実績	人			
			目標値	人	15,000		
			達成度	%	0.0%		
	評価年度の設定理由						
	令和2年度に用地購入、令和3年度に建築工事を実施予定であり、事業実施翌年度の効果を評価するため。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	令和2年度の年間利用者数は、5,947人と昨年度比▲3,302人となり、目標の15,000人を大きく下回っている状況です。この原因としては、新型コロナウイルス感染症により4,5月と施設利用が休止されたことや、大会等が中止になったことが挙げられます。令和3年度も新型コロナウイルスによる影響が懸念されるところではありますが、大会や教室等を開催するなどし利用者数の増加を図っていきます。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無							
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度
	トイレ新築 令和2年度：用地購入 令和3年度：建築		活動実績	件	1		
			活動見込	件	1		
			達成度	%	100.0%		

交付金事業の総事業費等	2年度	年度	年度	備 考
総事業費	531, 957			
交付金充当額	500, 000			
うち文部科学省分	0			
うち経済産業省分	500, 000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
用地購入	土地売買契約	土地所有者	531, 957	
交付金事業の担当課室	大野市スポーツ推進課			
交付金事業の評価課室	大野市スポーツ推進課			

事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1 1	地域活性化措置	大野市図書館維持運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市	
交付金事業実施場所		大野市天神町	
交付金事業の概要		大野市図書館では、生涯学習の一助として、図書資料の提供、各種講座、読書会等を行っています。また、近年では、子どもの読書活動の重要性から、児童サービスに重点をおいた事業も多数行っており、「大野市子ども読書活動推進計画」の実施主体として、市民全体に意識付けを行う役割を担っています。 本補助金を活用し、大野市図書館の健全な維持運営を通じて、図書資料等の情報提供サービスの充実や学習機会を提供することで、市民の生涯学習推進を図りました。（人件費3人分、9ヶ月分）	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関係する主要政策・施策 第五次大野市総合計画後期基本計画（平成28年度～令和2年度） 基本施策1 結の心あふれる人づくり 施策2 生涯学習の推進 目標：図書館の来館者数 87,500人（令和2年度）	
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度
事業期間の設定理由		—	

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和2年度		
	図書館の来館者数 87,500人 (令和2年度)	図書館の来館者数 (人)	成果実績	人	73,835		
			目標値	人	87,500		
			達成度	%	84.4%		
	評価年度の設定理由						
	—						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	新型コロナウイルス感染症による図書館の休館や利用制限の影響で、来館者数が減少しました。図書資料の充実や、状況に応じた本と触れ合う機会の提供により、目標来館者数を達成すること及び市民の生涯学習推進を図ります。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	30年度	元年度	2年度
	図書館職員の雇用量 (雇用人数(人)×雇用 期間(月))		活動実績	人月	36	30	27
			活動見込	人月	36	30	27
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%

交付金事業の総事業費等	30年度	元年度	2年度	備 考
総事業費	19,080,409	13,793,234	13,502,827	46,376,470
交付金充当額	11,430,000	10,419,000	7,600,000	29,449,000
うち文部科学省分	0	0	0	0
うち経済産業省分	11,430,000	10,419,000	7,600,000	29,449,000
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
人件費	雇用	図書館職員	13,502,827	
交付金事業の担当課室	大野市総務課			
交付金事業の評価課室	大野市総務課			

事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1 2	地域活性化措置	公立保育園維持運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市
交付金事業実施場所	大野市朝日ほか2件	
交付金事業の概要	荒島、阪谷、和泉の各保育園では、地域の特性を活かし、豊かな自然に親しみ、高齢者との世代間交流等を行うことで地域社会との関わりを深めています。子ども自らがその体験を通して、好奇心や探求心を抱き、自分で考え、そして自己表現できる”生きる力”を育むことを保育の目標としており、各地区の子育て支援の核的機能を果たしています。また、各保育園は市街地から約5～30km離れた村部～山間部にあり、各地区における子育て支援の一層の充実を図るためには、各保育園の健全な維持運営が不可欠です。 本補助金を活用し、公立保育園の健全な維持運営を通じて、魅力的で独創的な保育を展開することにより、各地区の児童の心身共に健やかな成長を図りました。（人件費 3 保育園 保育士6人、調理師3人 9ヶ月分）	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	交付金事業に関する主要政策・施策 第五次大野市総合計画後期基本計画（平成28年度～令和2年度） 基本施策8 子どもと子育て家庭への支援 施策2 保育サービスの充実 目標：保育を必要とする児童の入所率 100%（令和2年度）	

事業開始年度	令和2年度		事業終了（予定）年度		令和2年度		
事業期間の設定理由	—						
交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和2年度		
	保育を必要とする児童 の入所率 100% （令和2年 度）	保育を必要とする児童 の入所率 （%）	成果実績	人	100		
			目標値	人	100		
			達成度	%	100.0%		
	評価年度の設定理由						
	—						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	児童の入所率については例年通り目標を達成していますが、引き続き児童の心身共に健やかな成長を支えるため、魅力的かつ独創的な保育の展開を図ります。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	30年度	元年度	2年度
	保育士・調理師の雇用量 （雇用人数（人）×雇用 期間（月））		活動実績	人月	108	100	81
			活動見込	人月	108	100	81
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%

交付金事業の総事業費等	30年度	元年度	2年度	備 考
総事業費	49, 155, 660	49, 406, 848	41, 638, 204	140, 200, 712
交付金充当額	27, 980, 000	31, 932, 000	30, 139, 000	90, 051, 000
うち文部科学省分	0	0	0	0
うち経済産業省分	27, 980, 000	31, 932, 000	30, 139, 000	90, 051, 000
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
人件費	雇用	保育士・調理師	41, 638, 204	
交付金事業の担当課室	大野市総務課			
交付金事業の評価課室	大野市総務課			

事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
13	地域活性化措置	図書館維持運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		勝山市
交付金事業実施場所	勝山市立図書館（勝山市昭和町）	
交付金事業の概要	図書館の通常業務はもちろんのこと、他自治体との合同読書大会、ブックスタート事業、学校図書館支援事業などの多彩な事業・行事を通じて市民の教育と文化の発展に寄与するため、電源立地地域対策交付金を活用し、健全な図書館環境の管理運営に努めています。勝山市立図書館の職員人件費（正職員4人（うち司書2人）、会計年度任用職員4人）9か月分に活用しました。	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第5次勝山市総合計画（改定版）（平成28年度～令和2年度） 基本計画第5章 豊かな人間性とたくましさをもった人を育むまちづくり 3 いきいきと学ぶ生涯学習の推進 （4）図書館機能の充実 ・勝山市では、勝山市立図書館を市民の学びの場や情報提供の拠点として位置づけ、市民・学校・他の行政機関に対して図書資料や情報を提供していきます。また、貸出型図書館から情報発信・課題解決型図書館への発展を目指し、機能を強化していきます。さらに、生活に役立つ話題を取り上げた企画コーナーの設置など、市民が利用しやすい環境づくりを推進するとともに施設・設備を計画的にリニューアルしていきます。子どもの読書活動推進計画に基づき、子どもたちの読書環境を整備するため、学校図書室の機能充実に向けた支援を行います。さらに、小さな頃から本に触れ合い親しんでもらうため、生後6ヶ月から1歳6ヶ月の赤ちゃんと保護者を対象としたブックスタート事業を推進していきます。 目標：市立図書館への年間入館者数 92,000人以上を維持（令和2年度）	

事業開始年度	令和2年度		事業終了（予定）年度		令和2年度
事業期間の設定理由	—				
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和2年度
	市立図書館への年間入館者数 92,000人以上	市立図書館への入館者数の延べ人数（1年間）	成果実績	人	56,579
			目標値	人	92,000
			達成度	%	61.5%
	評価年度の設定理由				
	—				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	本交付金の活用により、当該図書館の職員人件費9か月分を確保することができました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症や令和3年1月の大雪災害の影響により、休館となったり、新しい生活様式に対応した運営方針となったりと、利用者の増加にはつなげることはできませんでした。しかしながら、感染症対策等に取り組みながら、ブックスタート事業や企画コーナー、行事等の企画・運営について、市民が図書館に親しめるよう事業をすすめることができました。今後も新しい生活様式に合わせた事業内容とサービスの充実を図ることで、安定的な入館者数確保に努めていきます。				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	30年度	元年度	2年度
	市立図書館職員の雇用量 (雇用人数(人)×雇用 期間(月))	活動実績	人月	112	100	71
		活動見込	人月	120	100	81
		達成度	%	93.3%	100.0%	87.6%
交付金事業の総事業費 等	30年度	元年度		2年度	備 考	
総事業費	25,672,600	25,372,600		19,460,830	70,506,030	
交付金充当額	18,867,000	19,322,000		19,144,000	57,333,000	
うち文部科学省分	0	0		0	0	
うち経済産業省分	18,867,000	19,322,000		19,144,000	57,333,000	
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
人件費		雇用		職員		19,460,830
交付金事業の担当課室		勝山市生涯学習・スポーツ課				
交付金事業の評価課室		勝山市未来創造課				

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
14	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	越前市防災行政無線施設運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		越前市		
交付金事業実施場所		越前市一円		
交付金事業の概要		地域住民の安全な生活を維持するため、越前市内各所の移動系防災行政無線通信設備の保守点検（年1回）、災害対策本部と避難場所等（全25箇所）の間での伝達訓練等を実施しました。		
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		越前市地域防災計画（一般対策編）／第4章 災害応急対策計画／第2項 情報の収集伝達／第1節 通信運用・情報収集伝達計画／第6 通信手段の確保 災害時等において、災害対策本部と避難場所等の間で避難情報等を的確に伝達するとともに、被災状況等の情報収集や情報伝達を円滑に行う。 目標：災害対策本部と避難場所等の間での伝達時のトラブル回数0		
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由		—		

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和2年度		
	災害対策本部と避難場所等の間でのトラブルを0にする。	災害対策本部と避難場所等の間でのトラブル数	成果実績	回	1		
			目標値	回	0		
			達成度	%	0.0		
	評価年度の設定理由						
	—						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	点検時に一部機器に通信不良がみられたものの、早急な修理対応ができており、災害対策本部と避難場所間を結ぶ通信体制の維持に支障はなく、万が一の災害時における市民の避難生活への安心安全を提供することができました。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	30年度	元年度	2年度
	定期点検（年1回）	活動実績	回	1	0	1	
		活動見込	回	1	0	1	
		達成度	%	100.0%	0.0%	100.0%	
	災害対策本部と避難場所等の間での伝達訓練の実施箇所数（全25箇所）	活動実績	回	25	25	25	
		活動見込	回	25	25	25	
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	

交付金事業の総事業費等	30年度	元年度	2年度	備 考
総事業費	4, 193, 640	1, 287, 000	1, 320, 000	6, 800, 640
交付金充当額	3, 130, 000	1, 287, 000	1, 200, 000	5, 617, 000
うち文部科学省分	0	0	0	0
うち経済産業省分	3, 130, 000	1, 287, 000	1, 200, 000	5, 617, 000
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
防災行政無線通信設備の保守 点検業務の委託	指名型競争入札	株式会社ほくつう 福井支社（福井市）	1, 320, 000	
交付金事業の担当課室	越前市防災危機管理課			
交付金事業の評価課室	越前市防災危機管理課			

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
15	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	越前市防災行政無線管理事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		越前市		
交付金事業実施場所		越前市一円		
交付金事業の概要		地域住民の安全な生活を維持するため、越前市内の行政無線施設において、避難所、災害対策本部、パトロール車両間の相互の通信を行う移動系無線設備を設置し、災害対策本部と避難場所等（全25箇所）の間での伝達訓練を行い、適正な維持管理を行います。		
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		越前市地域防災計画（一般対策編）／第4章 災害応急対策計画／第2項 情報の収集伝達／第1節 通信運用・情報収集伝達計画／第6 通信手段の確保 災害時等において、災害対策本部と避難場所等の間で避難情報等を的確に伝達するとともに、被災状況等の情報収集や情報伝達を円滑に行う。 目標：災害対策本部と避難場所等の間での伝達時のトラブル回数0回		
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由		—		

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和2年度
	災害対策本部と避難場所等でのトラブルを0にする。	災害対策本部と避難場所等でのトラブル数	成果実績	回	1			
			目標値	回	0			
			達成度	%	0.0%			
	評価年度の設定理由							
	—							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	点検時に一部機器に通信不良がみられたものの、早急な修理対応ができており、災害対策本部と避難場所間を結ぶ通信体制の維持に支障はなく、万が一の災害時における市民の避難生活への安心安全を提供することができました。							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	30年度	元年度	2年度	
	災害対策本部と避難場所等での伝達訓練の実施箇所数（全25箇所）		活動実績	箇所	25	25	25	
			活動見込	箇所	25	25	25	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	

交付金事業の総事業費等	30年度	元年度	2年度	備 考
総事業費	1, 882, 440	1, 903, 356	1, 722, 336	5, 508, 132
交付金充当額	1, 477, 000	1, 482, 000	1, 492, 000	4, 451, 000
うち文部科学省分	1, 477, 000	1, 482, 000	1, 492, 000	4, 451, 000
うち経済産業省分	0	0	0	0
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
M C A無線基本利用料金	随意契約（特命）	（一財）移動無線センター 近畿センター	1, 722, 336	
交付金事業の担当課室	越前市防災危機管理課			
交付金事業の評価課室	越前市防災危機管理課			

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
16	福祉対策措置	越前市子ども広場事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		越前市		
交付金事業実施場所		越前市府中一丁目		
交付金事業の概要		令和元年１１月に開所した市民プラザたけふ内の子ども広場に「遊びの支援員」を配置し、概ね３才から１２才までの発達段階にある子ども達を対象に、遊具や自由空間でしっかりからだを動かして遊ぶにあたり、さまざまな年齢、個性のある子ども達が、互いを認め合いながら遊ぶことができ、さらに既成の遊具だけではなく、子どもの創造力、考える力を引出す遊びを展開しました。		
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		越前市総合計画／第２章「元気な人づくり」／第１節「子どもの笑顔が輝く環境づくり」／施策（４）「子どもの生きる力を育む教育・生活環境づくり」／就学前教育・保育内容及び環境の充実 目標：子ども広場利用者数360,000人（令和２年度）		
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由		—		

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和2年度		
	子ども広場利用者数 360,000人を目指す。	子ども広場利用者数	成果実績	回	236,163		
			目標値	回	360,000		
			達成度	%	65.6%		
	評価年度の設定理由						
	—						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	子どもたちの自立を育む場である「てんぐちゃん広場」に遊びの支援員を配置することで、より安全で安心した環境の中で親子が遊びを楽しむことができました。また、親子イベントや情報発信を企画・実施することで、広場のコンセプトの1つである「かこさとし氏の子育て文化」の啓発に努めることができました。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	元年度	2年度	年度
	支援員配置量 (人数×月)		活動実績	人・月	6	12	
			活動見込	人・月	6	12	
			達成度	%	100.0%	100.0%	
交付金事業の総事業費等		元年度	2年度	年度	備 考		
総事業費		3,396,404	6,829,074			10,225,478	
交付金充当額		2,262,000	2,194,000			4,456,000	
うち文部科学省分		0	0			0	
うち経済産業省分		2,262,000	2,194,000			4,456,000	

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
越前市子ども広場機能強化業務委託	随意契約	幼児・児童体育教室たけのこくらぶ（越前市）	6,829,074
交付金事業の担当課室	越前市子ども福祉課子ども子育て総合相談室		
交付金事業の評価課室	越前市子ども福祉課子ども子育て総合相談室		

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
17	地域活性化措置	学校給食施設維持運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		坂井市		
交付金事業実施場所		坂井市丸岡町ほか4件		
交付金事業の概要		坂井市内小学校の給食施設の健全な維持運営を行うため、6か月分の人件費（6名分）に本交付金を充当しました。		
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第2次坂井市食育推進計画 基本目標 まなぶ 生涯を通じた食の教育を充実し、食の理解を深める えらぶ 身近な食材・食品を賢く選び、安全・安心な食生活をめざす たべる 幼い頃から望ましい食習慣や、食に感謝する心を身につけ、楽しく食事をする つたえる 先人が歴史と経験から生み出した、食文化を次世代に伝え、世代や地域間の交流を図る アレルギー食の自校対応率 100% ふるさと給食実施 年1回以上/全校 食材の地産地消割合 30%		
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由		-		

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和2年度
	アレルギー食の自校対応率 100%	交付金事業対象校5校に占める対応校の割合	成果実績	%	100	
			目標値	%	100	
			達成度	%	100.0%	
	ふるさと給食実施年1回以上/全校	交付金事業対象校5校におけるふるさと給食の実施回数	成果実績	回	1	
			目標値	回	1	
			達成度	%	100.0%	
	食材の地産地消割合30%	交付金事業対象校5校の給食食材に占める地産地消の割合	成果実績	%	12.3	
			目標値	%	30	
			達成度	%	41.0%	
	評価年度の設定理由					
	—					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	新型コロナウイルス感染症対策の観点から、子どもたちが手で触れて食する食材（メロン、すいか、ミディトマト等）を献立に使用することを控えたことにより、地産地消食材の使用が減となりました。今後も引き続き新型コロナウイルス感染症対策を考えながら、その中でも地産地消食材を組み込んでいけるように献立を工夫していきます。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	30年度	元年度	2年度
	調理員の累計雇用量 (雇用人数(人)×雇用 期間(月))		活動実績	人月	35	35	32
			活動見込	人月	35	35	36
			達成度	%	100.0%	100.0%	88.8%
交付金事業の総事業費 等	30年度		元年度		2年度		備 考
総事業費	5,307,500		5,366,000		5,089,800		15,763,300
交付金充当額	4,700,000		4,700,000		4,700,000		14,100,000
うち文部科学省分	0		0		0		0
うち経済産業省分	4,700,000		4,700,000		4,700,000		14,100,000
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
人件費		雇用		調理師		5,089,800	
交付金事業の担当課室		坂井市学校教育課					
交付金事業の評価課室		坂井市企画政策課					

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1 8	地域活性化措置	永平寺子育て支援施設維持運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		永平寺町
交付金事業実施場所	永平寺町石上（上志比幼稚園）	
交付金事業の概要	子育て支援施設（上志比幼稚園）の機能充実を図り、地域福祉並びに住民のサービス向上と活性化を図るため、9か月分の人件費（6名分）に本交付金を充当しました。	
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第二次永平寺町総合振興計画（平成29年度～令和8年度） 基本目標 第1章 豊かな人間性と文化を育む、ゆとりに満ちた人づくり 基本施策 第1節 子育て支援の充実 （4） 保育サービスの充実 ・ 仕事や社会活動と子育てが両立できるよう、保育ニーズを絶えず的確に把握しながらサービスの充実を図るとともに、保育士などの人材の確保や資質の向上に努めます。 目標：待機児童0人	

事業開始年度	令和2年度		事業終了（予定）年度		令和2年度		
事業期間の設定理由	—						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和2年度		
	待機児童0人	待機児童数	成果実績	人	0		
			目標値	人	0		
			達成度	%	100.0%		
	評価年度の設定理由						
	—						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	子育て支援施設（上志比幼稚園）の維持運営費（保育士6名）に補助事業費を充当し、施設の健全な維持運営と機能の充実に努められ、また待機児童0名を維持し、地域の保育需要に応えることができました。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	30年度	元年度	2年度
	保育士の雇用量 （雇用人数（人）×雇用期間（月））		活動実績	人月	48	50	54
			活動見込	人月	48	50	54
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%

交付金事業の総事業費等	30年度	元年度	2年度	備 考
総事業費	13, 846, 800	13, 737, 200	13, 712, 100	41, 296, 100
交付金充当額	11, 200, 000	11, 400, 000	11, 200, 000	33, 800, 000
うち文部科学省分	0	0	0	0
うち経済産業省分	11, 200, 000	11, 400, 000	11, 200, 000	33, 800, 000
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
人件費	雇用	保育士	13, 712, 100	
交付金事業の担当課室	永平寺町子育て支援課			
交付金事業の評価課室	永平寺町財政課			

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
19	地域活性化措置	池田町なかよしこども園維持運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		池田町		
交付金事業実施場所		池田町山田		
交付金事業の概要		町内唯一の保育施設である、池田町なかよしこども園のより健全な運営は地域の子育て環境を整える上で欠かせないものとなっており、その運営を円滑にするために交付金を活用しました。 （池田町内の保育施設の保育士人件費4名分、9ヶ月分）		
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に係る主要政策・施策：池田町子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～6年度） 基本目標2 子どもが健やかに育つ環境をつくります 本事業を活用し施設の運営を円滑にすることで、子どもたちの安全で健やかな成長発達と子育て世代の社会進出の促進を図ります。 目標：当町内の待機児童0人		
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由		—		

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和2年度
	町内の待機児童 0人	町内の待機児童 数（人）	成果実績	人	0			
			目標値	人	0			
			達成度	%	100.0%			
	評価年度の設定理由							
	—							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	待機児童0人を達成でき、地域の健全な子育て環境を維持することができました。							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	30年度	元年度	2年度	
	保育士の雇用量（雇用人数×雇用期間）		活動実績	人月	34	40	36	
			活動見込	人月	40	40	36	
			達成度	%	85.0%	100.0%	100.0%	

交付金事業の総事業費等	30年度	元年度	2年度	備 考
総事業費	14, 388, 767	10, 825, 100	10, 680, 920	35, 894, 787
交付金充当額	7, 771, 000	8, 053, 000	7, 956, 000	23, 780, 000
うち文部科学省分	985, 000	988, 000	994, 000	2, 967, 000
うち経済産業省分	6, 786, 000	7, 065, 000	6, 962, 000	20, 813, 000
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
保育士人件費	雇用	保育士	10, 680, 920	
交付金事業の担当課室	池田町総務財政課			
交付金事業の評価課室	池田町総務財政課			

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
20	福祉対策措置	南条こども園維持運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		南越前町		
交付金事業実施場所		南越前町 東大道		
交付金事業の概要		当町の共働き率は59.2％であり、全国でも上位である福井県平均58.6％よりも高い数字であることから、育児負担の軽減、育児不安の解消及び世帯間交流の場等多様な役割を担っている保育所の安定的な維持運営が必要です。本補助金を保育士人件費に充当することにより、安全で信頼できる保育環境を構築するとともに、円滑な保育事業の運営を行い、住民福祉の充実を図ることを目標とします。 (事業の概要) 南条こども園の保育士人件費（保育士15名）に本補助金を充当しました。		
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第2期南越前町子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度） 重点目標 教育・保育サービスの充実 2. 教育・保育事業量の見込みと確保の内容 幼稚園教育を希望する家庭、保育が必要な家庭へのニーズに対応するため、教育・保育施設の整備及び必要な人材の確保を行い、本町の待機児童数0人を目指します。		
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由		—		

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和2年度		
	令和2年度の待機児童数0人を目指す	第2期南越前町子ども・子育て支援事業計画目標値	成果実績	人	0		
			目標値	人	0		
			達成度	%	100.0%		
	評価年度の設定理由						
	—						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	—						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	30年度	元年度	2年度
	保育士の雇用量 (雇用人数(人)×雇用期間(月))		活動実績	人月	135	134	177
			活動見込	人月	146	180	180
			達成度	%	92.5%	74.4%	98.3%

交付金事業の総事業費等	30年度	元年度	2年度	備 考
総事業費	31, 793, 100	31, 064, 310	38, 403, 800	101, 261, 210
交付金充当額	27, 377, 000	27, 367, 000	27, 449, 000	82, 193, 000
うち文部科学省分	27, 377, 000	27, 367, 000	27, 449, 000	82, 193, 000
うち経済産業省分	0	0	0	0
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
保育士人件費	雇用	—	38, 403, 800	
交付金事業の担当課室	南越前町保健福祉課			
交付金事業の評価課室	南越前町保健福祉課			

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
２１	地域活性化措置	河野北前船主通り魅力向上ブランド発信事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		南越前町
交付金事業実施場所	南越前町 河野 地係	
交付金事業の概要	日本遺産に認定されたことで北前船の知名度は全国へ広まり、敦賀市や南越前町独自の観光資源ではなく、福井県を代表する観光資源の一つとなり、民間旅行会社による観光ツアーや地域団体の活動により、訪れる観光客は大幅に増加しています。敦賀市などとの近隣市町との周遊観光ルートを確立させ、北前船主集落の魅力を更に高めていくため、観光ボランティアガイドの拠点となる施設、休憩所、トイレバリアフリー化、日本遺産をひろくＰＲするための観光案内看板を整備しました。 （事業の概要） ・河野北前船主通り魅力向上ブランド発信事業（観光休憩所整備 等）	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第２次南越前町総合計画 後期計画 第３章：生き生きと働けるまちづくり 基本施策１３：観光の振興 細施策３２：観光基盤の整備充実 ・観光でこころひとつになり、活力ある地域が創造されるまち 【基本構想 第２章 ２ 交流人口の目標】 入込客数：平成２５年 ６２８，０００人 ⇒ 令和６年 ７８０，０００人	

事業開始年度	令和2年度			事業終了（予定）年度		令和2年度	
事業期間の設定理由	—						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和6年度		
	令和6年度交流人口 780,000人	第2次南越前町総合計画 後期計画 基本構想目標値	成果実績	人			
			目標値	人	780,000		
			達成度	%	0.0%		
	評価年度の設定理由						
	南越前町広域観光推進事業が位置付けられている第2次南越前町総合計画の終期が令和6年度であり、当該計画が終了してから事業評価が可能となるため。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	—						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度
	北前船主の館整備 N=1式		活動実績	式	1		
			活動見込	式	1		
			達成度	%	100.0%		

交付金事業の総事業費等	2年度	年度	年度	備 考
総事業費	1,910,700			
交付金充当額	1,700,000			
うち文部科学省分	1,700,000			
うち経済産業省分	0			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
北前船主の館「右近家」 観光休憩所整備工事	指名競争入札	株式会社 渡辺住建	1,910,700	
交付金事業の担当課室	南越前町観光まちづくり課			
交付金事業の評価課室	南越前町観光まちづくり課			

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
２２	地域活性化措置	花はす公園リニューアル事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		南越前町
交付金事業実施場所	南越前町 中小屋 地係	
交付金事業の概要	南越前町は花はすの作付面積日本一の町で、７月～８月にかけて咲き誇る幻想的な姿が訪れる人を楽しませてくれ、民間旅行会社による観光ツアーにより訪れる方も増加しています。北陸新幹線敦賀開業を見据え、花はす公園の魅力を更に向上させるため、リニューアル計画を策定し、園内のバリアフリー化、イルミネーション、ミスト設備や日除けなどの暑さ対策施設等、花はす公園をリニューアル整備することで、敦賀市など近隣市町との周遊観光ルートを確立させます。 （事業の概要）花はす公園リニューアル事業（バリアフリー化、イルミネーション、暑さ対策施設整備等）の実施設計業務を行いました。	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第２次南越前町総合計画 後期計画 第３章：生き活きと働けるまちづくり 基本施策１３：観光の振興 細施策３２：観光基盤の整備充実 ・観光でこころひとつになり、活力ある地域が創造されるまち 【基本構想 第２章 ２ 交流人口の目標】 入込客数：平成２５年 ６２８，０００人 ⇒ 令和６年 ７８０，０００人	

事業開始年度	令和2年度			事業終了（予定）年度		令和2年度	
事業期間の設定理由	—						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和6年度		
	令和6年度交流人口 780,000人	第2次南越前町総合計画 後期計画 基本構想目標値	成果実績	人			
			目標値	人	780,000		
			達成度	%	0.0%		
	評価年度の設定理由						
	南越前町広域観光推進事業が位置付けられている第2次南越前町総合計画の終期が令和6年度であり、当該計画が終了してから事業評価が可能となるため。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	—						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度
	花はす公園施設整備実施設計業務		活動実績	箇所	1		
			活動見込	箇所	1		
			達成度	%	100.0%		

交付金事業の総事業費等	2年度	年度	年度	備 考
総事業費	3,454,000			
交付金充当額	3,100,000			
うち文部科学省分	3,100,000			
うち経済産業省分	0			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
花はす公園リニューアル事業実施設計業務委託	指名競争入札	株式会社 緑建設計	3,454,000	
交付金事業の担当課室	南越前町観光まちづくり課			
交付金事業の評価課室	南越前町観光まちづくり課			

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
23	福祉対策措置	花はす温泉そまやま設備更新事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		南越前町		
交付金事業実施場所		南越前町中小屋		
交付金事業の概要		花はす温泉そまやまの給湯用ボイラーと給水加圧ポンプは、機器の老朽化により故障が多々発生しており、設備が古いことから部品の生産が終了し修繕が困難な状況となっています。このことから、給湯用ボイラーと給水加圧ポンプ設備の更新に本補助金を充当することにより、当該施設の機器改善を図りました。 （事業の概要） ・給湯用ボイラー入替事業 ・給水加圧ポンプ入替事業		
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第２次南越前町総合計画 後期計画 第３章：生き活きと働けるまちづくり 基本施策13：観光の振興 細施策32：観光基盤の整備充実 観光でこころひとつになり、活力ある地域が創造されるまち		
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由		—		

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和2年度
	0日	設備障害による休業日数	成果実績	日	0			
			目標値	日	0			
			達成度	%	100.0%			
	評価年度の設定理由							
	—							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	—							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度	
	・給湯用ボイラー入替 ・給水加圧ポンプ入替 一式		活動実績	式	1			
			活動見込	式	1			
			達成度	%	100.0%			
交付金事業の総事業費等	2年度		年度		年度		備考	
総事業費	6,765,000							
交付金充当額	6,400,000							
うち文部科学省分	0							
うち経済産業省分	6,400,000							

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
そまやま 給湯用ボイラー 入替工事	随意契約	株式会社 北陸アロー機器	4,235,000
そまやま 給水加圧ポンプ 入替工事	指名競争入札	株式会社 オクムラ機工	2,530,000
交付金事業の担当課室	南越前町観光まちづくり課		
交付金事業の評価課室	南越前町観光まちづくり課		

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
2 4	福祉対策措置	やすらぎ温泉源泉ポンプ入替修繕事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		南越前町		
交付金事業実施場所		南越前町板取		
交付金事業の概要		今庄365温泉やすらぎの源泉ポンプは、機器の老朽化により故障が多々発生しており、設備が古いことから部品の生産が終了し修繕が困難な状況となっています。このことから、源泉ポンプ設備の更新に本補助金を充当することにより、当該施設の機器改善を図りました。 (事業の概要) ・源泉ポンプ入替事業		
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第2次南越前町総合計画 後期計画 第3章：生き活きと働けるまちづくり 基本施策13：観光の振興 細施策32：観光基盤の整備充実 観光でこころひとつになり、活力ある地域が創造されるまち		
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由		—		

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和3年度
	0日	設備障害による休業日数	成果実績	日				
			目標値	日	0			
			達成度	%	0.0%			
	評価年度の設定理由							
	事業完了後に評価が可能となるため。							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	—							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度	
	源泉ポンプ入替更新 一式		活動実績	式	1			
			活動見込	式	1			
			達成度	%	100.0%			
交付金事業の総事業費等	2年度	年度		年度	備考			
総事業費	4,478,100							
交付金充当額	3,800,000							
うち文部科学省分	0							
うち経済産業省分	3,800,000							

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
今庄365温泉やすらぎ 源泉ポンプ入替修繕工事	随意契約	株式会社エオネックス	4,478,100
交付金事業の担当課室	南越前町観光まちづくり課		
交付金事業の評価課室	南越前町観光まちづくり課		

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
25	福祉対策措置	今庄地区消雪施設更新事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		南越前町		
交付金事業実施場所	南越前町今庄			
交付金事業の概要	当町今庄地区内の消雪施設は、設置から30～40年経過している施設もあり、老朽化に伴い、部品の損傷や漏電が発生する状況です。事業の実施により、突発的な故障を未然に防ぎ、冬季の交通確保による雪に強いまちづくりを実現します。 （事業の概要） ・消雪施設制御盤更新（1箇所）を行いました。			
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第2次南越前町総合計画 後期計画 第2章：安全安心して暮らせるまちづくり 基本施策10：快適な住環境づくり 細施策26：克雪対策の充実 道路除排雪体制の充実や高齢者等への除雪支援により、冬期間でも雪に対する不安なく安心して過ごせるまち			
事業開始年度	令和2年度		事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由	—			

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和2年度
	0回	今回整備区間における積雪時の通行規制回数	成果実績	回	0			
			目標値	回	0			
			達成度	%	100.0%			
	評価年度の設定理由							
	—							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	—							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度	
	消雪施設制御盤更新 一式		活動実績	式	1			
			活動見込	式	1			
			達成度	%	100.0%			
交付金事業の総事業費等	2年度	年度		年度	備考			
総事業費	3,432,000							
交付金充当額	3,400,000							
うち文部科学省分	0							
うち経済産業省分	3,400,000							

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
町道今庄中央線消雪施設 更新工事	指名競争入札	株式会社 サカエ設備	3,432,000
交付金事業の担当課室	南越前町建設整備課		
交付金事業の評価課室	南越前町建設整備課		

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
26	地域活性化措置	除排雪機械整備事業補助金		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		南越前町		
交付金事業実施場所	南越前町一円			
交付金事業の概要	除雪業者においては、除雪機械を保有することが難しい事業者もいることから、町がリース契約した車両を貸与して除雪作業を行っています。当事業を実施することで、例年リースにより発生している除雪機械の維持補修にかかる経費の削減を図りつつ、機械を保有することによる除雪業務の引き受け手の長寿命化や、新たな事業者の除雪業務への新規参入を促進します。 (事業の概要) ・除雪業者（2件）への補助を行いました。（補助限度額 3,000千円/台）			
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第2次南越前町総合計画 後期計画 第2章：安全安心して暮らせるまちづくり 基本施策10：快適な住環境づくり 細施策26：克雪対策の充実 道路除排雪体制の充実や高齢者等への除雪支援により、冬期間でも雪に対する不安なく安心して過ごせるまち			
事業開始年度	令和2年度		事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由	—			

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和2年度
	3 社	除雪業務の長期（7年間）の引受業者	成果実績	社	2			
			目標値	社	3			
			達成度	%	66.7%			
	評価年度の設定理由							
	—							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	—							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度	
	除雪業者への補助 3件		活動実績	件	2			
			活動見込	件	3			
			達成度	%	66.6%			
交付金事業の総事業費等	2年度		年度		年度		備 考	
総事業費	6,000,000							
交付金充当額	5,000,000							
うち文部科学省分	0							
うち経済産業省分	5,000,000							

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
除排雪機械整備補助事業	リース契約	株式会社野崎工務店	3,000,000
除排雪機械整備補助事業	リース契約	株式会社 S. K. P	3,000,000
交付金事業の担当課室	南越前町建設整備課		
交付金事業の評価課室	南越前町建設整備課		

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
27	福祉対策措置	河野小学校空調整備事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		南越前町		
交付金事業実施場所	南越前町河野			
交付金事業の概要	河野小学校において、特別支援学級教室に空調を新設しました。また、併せて校長室、パソコン室の空調設備に不具合が生じているため、更新整備を実施しました。 （事業の概要） ・特別支援学級教室、校長室、パソコン室用エアコン工事 （天吊り型エアコンおよび耐塩害仕様室外機 3台）			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第2次南越前町総合計画 後期計画 第4章：人と文化を育むまちづくり 基本施策14：豊かな人間性を育む教育の充実と環境の整備 細施策36：安全な教育環境の整備 安全安心で、児童生徒が快適に学ぶことができるまち			
事業開始年度	令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度	
事業期間の設定理由	—			

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和2年度
	0日	空調設備の故障等による未稼働日数	成果実績	日	0			
			目標値	日	0			
			達成度	%	100.0%			
	評価年度の設定理由							
	—							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	—							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度	
	空調設備の新設および更新 一式		活動実績	式	1			
			活動見込	式	1			
			達成度	%	100.0%			
交付金事業の総事業費等	2年度		年度		年度		備考	
総事業費	4,303,200							
交付金充当額	4,200,000							
うち文部科学省分	0							
うち経済産業省分	4,200,000							

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
河野小学校空調設備整備 工事	指名競争入札	関根電機	4,303,200
交付金事業の担当課室	南越前町教育委員会		
交付金事業の評価課室	南越前町教育委員会		

事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
28	福祉対策措置	桜橋総合運動公園設備改修事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		南越前町		
交付金事業実施場所	南越前町赤萩			
交付金事業の概要	桜橋総合運動公園設備の改修を実施することで、利用者の安全性と快適性の確保や、施設の長寿命化および機能の向上を図ります。本年度は、老朽化した屋外照明設備、照明用ポールの改修およびLED化と、ポリ塩化ビフェニル（以下PCB）を含んだ変圧器の改修を実施しました。 （事業の概要） ・照明灯具更新 6台、照明ポール更新 6箇所 ・高圧受電設備更新およびPCB含有変圧器処理 一			
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第2次南越前町総合計画 後期計画 第4章：人と文化を育むまちづくり 基本施策15：生涯にわたる学習社会の充実 細施策41：生涯スポーツの振興 住民の誰もがそれぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでもどこでもスポーツを楽しめるまち			
事業開始年度	令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度	
事業期間の設定理由	—			

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和3年度
	0日	公園設備の故障等による未稼働日数	成果実績	日				
			目標値	日	0			
			達成度	%	0.0%			
	評価年度の設定理由							
	事業完了後に評価が可能となるため。							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	—							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度	
	照明設備、高圧受電設備更新およびPCB含有変圧器処理一式		活動実績	式	1			
			活動見込	式	1			
			達成度	%	100.0%			
交付金事業の総事業費等	2年度	年度		年度	備考			
総事業費	7,128,000							
交付金充当額	6,900,000							
うち文部科学省分	0							
うち経済産業省分	6,900,000							

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
桜橋総合運動公園照明設備 改修工事	指名競争入札	布川電機設備有限公司	2,816,000
桜橋総合運動公園高圧受電 設備改修工事	指名競争入札	有限公司 道下電設	4,312,000
交付金事業の担当課室	南越前町観光まちづくり課、教育委員会		
交付金事業の評価課室	南越前町観光まちづくり課、教育委員会		

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
29	福祉対策措置	町道長沢中小屋線排水路整備事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		南越前町	
交付金事業実施場所		南越前町長沢	
交付金事業の概要		当該路線は町内南条地区と今庄地区を結ぶ交通量の多い重要な路線ですが、一部、排水路の未整備区間が存在する状況です。本事業にて排水路整備を実施することで、降雨時等における通行者の安全性を確保しました。 （事業の概要） ・排水路整備 施行延長 L=114.5m	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第２次南越前町総合計画 後期計画 第２章：安全安心して暮らせるまちづくり 基本施策7：道路交通網の整備 細施策20：生活道路の整備 町内の地域間を結ぶ道路網による、生活利便性の高い、安心・安全なまち	
事業開始年度		2年度	事業終了（予定）年度 2年度
事業期間の設定理由		—	

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度3年度		
	0回	今回整備区 間における 降雨時の通 行規制回数	成果実績	回			
			目標値	回	0		
			達成度	%	0.0%		
	評価年度の設定理由						
	事業完了後に評価が可能となるため。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	—						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無							
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度
	排水路整備 一式		活動実績	式	1		
			活動見込	式	1		
			達成度	%	100.0%		
交付金事業の総事業費 等	2年度	年度		年度	備 考		
総事業費	4,400,000						
交付金充当額	3,700,000						
うち文部科学省分	0						
うち経済産業省分	3,700,000						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
町道長沢中小屋線排水路整備工事		指名競争入札		株式会社 小林工務店		4,400,000	
交付金事業の担当課室		南越前町建設整備課					
交付金事業の評価課室		南越前町建設整備課					

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
30	福祉対策措置	鋳物師排水路洪水対策事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		南越前町		
交付金事業実施場所		南越前町鋳物師		
交付金事業の概要		近年の集中豪雨や台風による大雨により、当該地籍の小河川の荒廃が発生し、降雨時において下流域で冠水等の被害が発生しています。排水路整備を実施し、下流域の住宅、道路及び耕地の保全を図りました。 （事業の概要） ・排水路整備 施行延長 L=110m		
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第第２次南越前町総合計画 後期計画 第２章：安全安心して暮らせるまちづくり 基本施策7：道路交通網の整備 細施策20：生活道路の整備 町内の地域間を結ぶ道路網による、生活利便性の高い、安心・安全なまち		
事業開始年度		2年度	事業終了（予定）年度	2年度
事業期間の設定理由		—		

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			3年度
	0回	今回整備区 間における 降雨時の通 行規制回数	成果実績	回				
			目標値	回	0			
			達成度	%	0.0%			
	評価年度の設定期間							
	事業完了後に評価が可能となるため。							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	—							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無								
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度	
	排水路整備 一式		活動実績	式	1			
			活動見込	式	1			
			達成度	%	100.0%			
交付金事業の総事業費 等	2年度	年度		年度	備 考			
総事業費	5,170,000							
交付金充当額	4,800,000							
うち文部科学省分	0							
うち経済産業省分	4,800,000							
交付金事業の契約の概要								
	契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
	鋳物師排水路洪水対策工事		指名競争入札		杣山建設株式会社		5,170,000	
交付金事業の担当課室		南越前町建設整備課						
交付金事業の評価課室		南越前町建設整備課						

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
3 1	福祉対策措置	町道岩谷線道路改良事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		南越前町		
交付金事業実施場所		南越前町岩谷		
交付金事業の概要		町道岩谷線は、広野ダムから夜叉ヶ池登山口を結ぶ道路として、地元住民および毎年多くの観光客が利用していますが、一部の未舗装区間において、路面が大雨により洗掘され通行に支障を来す障害が発生しています。未舗装区間の舗装工事に本補助金を充当することにより、道路の安全性を確保し利用者の利便性の向上を図りました。 （事業の概要） ・舗装工 施工延長 L=345m 面積 A=1,328㎡		
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第２次南越前町総合計画 後期計画 第２章：安全安心して暮らせるまちづくり 基本施策7：道路交通網の整備 細施策20：生活道路の整備 町内の地域間を結ぶ道路網による、生活利便性の高い、安心・安全なまち		
事業開始年度		2年度	事業終了（予定）年度	2年度
事業期間の設定理由		—		

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
３２	福祉対策措置	南条保健福祉センター多目的広場空調整備事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		南越前町	
交付金事業実施場所		南越前町脇本	
交付金事業の概要		南条保健福祉センターは、住民のためイベント開催等に使われる施設ではありますが、多目的広場には空調設備が整備されておらず、夏などは室内温度が高温になり、熱中症等が心配される状況です。また、参加者の密集を避け、広いスペースで会議を開催したいという声も利用者より挙がっているため、快適に会議やイベントを実施できる環境を整え、福祉の充実を図るため空調設備の新設工事を実施しました。 （事業の概要） ・空調設備の新設 一式	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第２次南越前町総合計画 後期計画 第１章：町民に優しいまちづくり 本事業の実施により多目的広場の利用回数が増となることで、「健康な心と体づくり」、「高齢者福祉の充実」、「障害者福祉の推進」、「子育て支援・児童福祉の充実」、「地域福祉の推進」というあらゆる面での効果が期待されます。	
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度 令和2年度
事業期間の設定理由		—	

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和3年度
	8回	多目的広場の夏期（7月～8月）における利用回数	成果実績	回				
			目標値	回	8			
			達成度	%	0.0%			
	評価年度の設定理由							
	事業完了後に評価が可能となるため。							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	—							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度	
	空調設備の新設 一式		活動実績	式	1			
			活動見込	式	1			
			達成度	%	100.0%			
交付金事業の総事業費等	2年度	年度		年度	備 考			
総事業費	21,692,000							
交付金充当額	17,000,000							
うち文部科学省分	0							
うち経済産業省分	17,000,000							

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
南条保健福祉センター多目的広場空調設備設置工事	指名競争入札	株式会社 サカエ設備	21,692,000
交付金事業の担当課室	南越前町保健福祉課		
交付金事業の評価課室	南越前町保健福祉課		

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
33	福祉対策措置	今庄中学校体育館照明取替事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		南越前町	
交付金事業実施場所		南越前町今庄	
交付金事業の概要		今庄中学校体育館の照明器具については老朽した水銀灯が設置されており、昨年度から計２回安定器等から煙が発生しています。利用者の安全性や照明の長寿命化を図るため、照明器具を水銀灯からLEDランプに取替えを実施しました。 （事業の概要） ・照明設備LED化 48基	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第２次南越前町総合計画 後期計画 第４章：人と文化を育むまちづくり 基本施策14：豊かな人間性を育む教育の充実と環境の整備 細施策36：安全な教育環境の整備 安全安心で、児童生徒が快適に学ぶことができるまち	
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度
事業期間の設定理由		—	

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和3年度
	0日	照明設備の 故障等による未稼働日 数	成果実績	日				
			目標値	日	0			
			達成度	%	0.0%			
	評価年度の設定理由							
	事業完了後に評価が可能となるため							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	—							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度	
	照明設備の取替 48基		活動実績	基	48			
			活動見込	基	48			
			達成度	%	100.0%			
交付金事業の総事業費 等	2年度	年度		年度	備 考			
総事業費	9,460,000							
交付金充当額	7,536,000							
うち文部科学省分	0							
うち経済産業省分	7,536,000							

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
今庄中学校体育館照明器具 取替工事	指名競争入札	有限会社 坂井電気商会	9,460,000
交付金事業の担当課室	南越前町教育委員会		
交付金事業の評価課室	南越前町教育委員会		

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
3 4	地域活性化措置	南越前町広域観光推進事業基金造成事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		南越前町
交付金事業実施場所	南越前町東大道地係	
交付金事業の概要	当町と近隣市町が有する観光資源の連携を強化し広域観光の推進を図るため、南越前町広域観光推進事業基金を造成しました。基金を観光資源の整備に充てることにより、地域の特性を活かした魅力ある観光地域の形成と、特定のテーマに関心の高い観光客の更なる誘致を図ります。 （事業の概要） ・河野北前船主通り魅力向上ブランド発信事業 （観光休憩所整備、観光案内看板整備等） ・花はす公園リニューアル事業 （バリアフリー化、イルミネーション、暑さ対策施設整備等）	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第２次南越前町総合計画 後期計画 第３章：生き活きと働けるまちづくり 基本施策１３：観光の振興 細施策３２：観光基盤の整備充実 ・観光でこころひとつになり、活力ある地域が創造されるまち 【基本構想 第２章 ２ 交流人口の目標】 入込客数：平成２５年 ６２８，０００人 ⇒ 令和６年 ７８０，０００人	

事業開始年度	令和2年度			事業終了（予定）年度		令和2年度	
事業期間の設定理由	—						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和6年度		
	令和6年度交流人口 780,000人	第2次南越前町 総合計画 後期計画 基本構想目標値	成果実績	人			
			目標値	人	780,000		
			達成度	%	0.0%		
	評価年度の設定理由						
	南越前町広域観光推進事業が位置付けられている第2次南越前町総合計画の終期が令和6年度であり、当該計画が終了してから事業評価が可能となるため。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	—						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	30年度	元年度	2年度
	基金造成額（千円）		活動実績	千円	15,600	27,600	22,800
			活動見込	千円	15,600	27,600	22,800
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%

交付金事業の総事業費等	30年度	元年度	2年度	備 考
総事業費	15, 600, 000	27, 600, 000	22, 800, 000	66, 000, 000
交付金充当額	15, 600, 000	27, 600, 000	22, 800, 000	66, 000, 000
うち文部科学省分	15, 600, 000	27, 600, 000	22, 800, 000	66, 000, 000
うち経済産業省分	0	0	0	0
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
基金造成	積立	—	22, 800, 000	
交付金事業の担当課室	南越前町総務課			
交付金事業の評価課室	南越前町総務課			

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
35	企業導入・産業活性化措置	定置・底曳網漁業振興対策事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		越前町
交付金事業実施場所	越前町大樟	
交付金事業の概要	越前町水産業の生産量は約3,000トンで、県全体の約2割となっており、うち定置漁業（ブリ、サワラなど）と底曳網漁業（ズワイガニ、アカガレイなど）で町内漁業生産量の約9割を占めています。これらは比較的安定した漁獲を維持しているものの、魚価の低迷、燃油や資材の高騰等により、漁業者の経営状態は厳しいものとなっています。さらに昨今、担い手不足等により、継続して漁業を営むことができない経営体が出てきており、当町水産業の衰退が懸念されるところです。 そこで、底曳漁業に携わる漁業経営体が行う、底曳網漁船の購入に対する補助金に本交付金を充当することで、底曳漁業の生産量の増加を図りました。	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	「第二次越前町総合振興計画」（平成28年度～令和7年度） 第2編 第1節「地域資源と共生する産業の振興」4-1-3. 水産業の振興 ■施策の展開方針 ①担い手の確保と経営力の向上を図る ■施策・事業 ★効率的かつ安定した漁業経営の構築 目標：漁業生産量増大10%（1経営体当たり） ・対象漁船漁業生産量 32 t （H26～H30平均） → 35 t （R3） 増加量3 t	

事業開始年度	令和2年度		事業終了（予定）年度		令和2年度		
事業期間の設定理由	—						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和4年度		
	令和3年度対象漁船生産量について過去5か年比10%（3t）増	過去5か年水揚量平均①×1.1-①	成果実績	t			
			目標値	t	3		
			達成度	%	0.0%		
	評価年度の設定理由						
	令和2年度と令和3年度の数値を比較するため、令和4年度に評価を実施します						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	—						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度
	小型底曳網漁船代船建造 隻 N = 1	活動実績	箇所	1			
		活動見込	箇所	1			
		達成度	%	100.0%			

交付金事業の総事業費等		2年度	年度	年度	備 考
総事業費		49, 999, 000			
交付金充当額		16, 666, 000			
うち文部科学省分		14, 057, 000			
うち経済産業省分		2, 609, 000			
交付金事業の契約の概要					
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額
船舶の購入		補助	越前町漁業協同組合 (越前町)		49, 999, 000
交付金事業の担当課室		越前町農林水産課			
交付金事業の評価課室		越前町農林水産課			

事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
36	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	観光施設管理運営事業 (越前がにミュージアムマーケット棟管理用備品購入)		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		越前町		
交付金事業実施場所		丹生郡越前町厨地係		
交付金事業の概要		越前がにミュージアムマーケット棟において、老朽化により冷蔵機能が故障しているショーケースの入替を実施し、観光客への利便性を図りました。 ショーケース入替 N=3.0 台		
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		観光拠点施設等再整備事業（平成30年度） 第二次総合振興計画（平成28年度～令和7年度） 基本計画第5章 ふるさとの個性を活かし交流を育むまちづくり 第1節 観光地としての新たな魅力向上 5－1－1．観光産業の活性化 ①観光資源の魅力向上を図る ・交流拠点施設の整備・充実とネットワーク化を図り、観光資源の魅力を高めます。 目標： 年間観光入込客数 現状 141.5万人（平成26年度） 		

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和2年度		
	越前がに ミュージアム年間入館 者数 35,000人→ 38,000人	越前がに ミュージアム年間入館 者数	成果実績	人	33,785		
			目標値	人	38,000		
			達成度	%	88.9%		
	評価年度の設定理由						
	-						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	新型コロナウイルスの影響で5月は閉館していたこともあり、実績が想定を下回りました。今後も感染症対策を続けていき、入館者数の確保を図ります。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度
	ショーケース N=3.0 台		活動実績	代	3		
			活動見込	台	3		
			達成度	%	100.0%		

交付金事業の総事業費等	2年度	年度	年度	備 考
総事業費	5,500,000			
交付金充当額	5,500,000			
うち文部科学省分	0			
うち経済産業省分	5,500,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
施設設備整備	指名競争入札	(株)大生 (越前町)	5,500,000	
交付金事業の担当課室	越前町商工観光課			
交付金事業の評価課室	越前町商工観光課			

事業評価個表（令和２年度）

[illegible]

事業開始年度	2年度		事業終了（予定）年度		2年度	
事業期間の設定理由	—					
交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 2年度	
	越前がに ミュージアム年間入館 者数 35,000人→ 38,000人	越前がに ミュージアム年間入館 者数	成果実績	人	33,785	
			目標値	人	38,000	
			達成度	%	88.9%	
	評価年度の設定理由					
	—					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	新型コロナウイルスの影響で5月は閉館していたこともあり、実績が想定を下回りました。今後も感染症対策を続けていき、入館者数の確保を図ります。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度 年度
	トンネル水槽用加温冷却 機入替工事 N=1.0 基	活動実績	式	1		
		活動見込	式	1		
		達成度	%	100.0%		

交付金事業の総事業費等	2年度	年度	年度	備 考
総事業費	15,070,000			
交付金充当額	13,197,000			
うち文部科学省分	0			
うち経済産業省分	13,197,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
施設修繕	一般競争入札	(株) 大生 (越前町)	15,070,000	
交付金事業の担当課室	越前町商工観光課			
交付金事業の評価課室	越前町商工観光課			

事業評価個表（令和２年度）

[illegible]

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和4年度
	越前がに ミュージアム 間入館者数 35,000人の 維持(令和 元年度→令 和3年度)	越前がに ミュージアム 間入館者 数	成果実績	人				
			目標値	人	35,000			
			達成度	%	0.0%			
	評価年度の設定理由							
	事業実施翌年度の効果を評価するため。							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	—							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度	
	かに水槽用電動弁取替工 事N = 3.0 基		活動実績	基	3			
			活動見込	基	3			
			達成度	%	100.0%			

交付金事業の総事業費等	2年度	年度	年度	備 考
総事業費	1,650,000			
交付金充当額	1,095,000			
うち文部科学省分	0			
うち経済産業省分	1,095,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
施設設備整備	一般競争入札	橋本建設（株）（越前町）	1,650,000	
交付金事業の担当課室	越前町商工観光課			
交付金事業の評価課室	越前町商工観光課			

事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
39	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	管理公社管理観光施設改修事業（越前温泉露天風呂漁火修繕）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		越前町		
交付金事業実施場所		丹生郡越前町厨地係		
交付金事業の概要		越前温泉露天風呂漁火において、経年劣化による修繕が必要なる過タンクの入替え及び送湯ポンプの増設を実施し、交互運転にすることで適正な維持管理と利用者への利便性向上を図りました。 夕日の湯（露天風呂）用ろ過タンク入替工 N=1.0 基 温泉送湯ポンプ増設工事 N=1.0 基		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		観光拠点施設等再整備事業（平成30年度） 第二次総合振興計画（平成28年度～令和7年度） 基本計画第5章 ふるさとの個性を活かし交流を育むまちづくり 第1節 観光地としての新たな魅力向上 5－1－1．観光産業の活性化 ①観光資源の魅力向上を図る ・交流拠点施設の整備・充実とネットワーク化を図り、観光資源の魅力を高めます。 目標： 年間観光入込客数 現状 141.5万人（平成26年度） 		

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			2年度
	越前温泉露天風呂漁火 年間入館者数 87,000人→ 88,000人	越前温泉露天風呂漁火 年間入館者数	成果実績	人	55,375			
			目標値	人	88,000			
			達成度	%	62.9%			
	評価年度の設定理由							
	-							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	新型コロナウイルスの影響で5月は閉館していたこともあり、実績が想定を下回りました。今後も感染症対策を続けていき、入館者数の確保を図ります。							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無								
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度	
	ろ過タンク入替工事、温泉 送湯ポンプ増設工事 N=1.0 基	活動実績	式	1				
		活動見込	式	1				
		達成度	%	100.0%				
交付金事業の総事業費等	2年度	年度		年度	備 考			
総事業費	3,190,000							
交付金充当額	2,700,000							
うち文部科学省分	0							
うち経済産業省分	2,700,000							

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
施設設備整備	一般競争入札	橋本建設（株）（越前町）	3,190,000
交付金事業の担当課室	越前町商工観光課		
交付金事業の評価課室	越前町商工観光課		

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
40	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	管理公社管理観光施設改修事業（越前温泉露天風呂日本海修繕）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		越前町		
交付金事業実施場所		丹生郡越前町米ノ地係		
交付金事業の概要		当該施設は、経年劣化で設備が損耗しているため、修繕工事を実施し、利用者への配慮及び施設の適正な運営管理を図りました。 温水ボイラー入替工事 N=1.0 基		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		観光拠点施設等再整備事業（平成30年度） 第二次総合振興計画（平成28年度～令和7年度） 基本計画第5章 ふるさとの個性を活かし交流を育むまちづくり 第1節 観光地としての新たな魅力向上 5－1－1．観光産業の活性化 ①観光資源の魅力向上を図る ・交流拠点施設の整備・充実とネットワーク化を図り、観光資源の魅力を高めます。 目標： 年間観光入込客数 現状 141.5万人（平成26年度） 		

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			2年度
	越前温泉露天風呂日本海年間入館者数 27,000人→28,000人	越前温泉露天風呂日本海年間入館者数	成果実績	人	23,584			
			目標値	人	28,000			
			達成度	%	84.2%			
	評価年度の設定理由							
	-							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	新型コロナウイルスの影響で5月は閉館していたこともあり、実績が想定を下回りました。今後も感染症対策を続けていき、入館者数の確保を図ります。							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無								
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度	
	温水ボイラー入替工事 N=1.0 基		活動実績	基	1			
			活動見込	基	1			
			達成度	%	100.0%			
交付金事業の総事業費等	2年度	年度		年度	備考			
総事業費	6,875,000							
交付金充当額	6,875,000							
うち文部科学省分	0							
うち経済産業省分	6,875,000							

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
施設設備整備	一般競争入札	(株) 大生 (越前町)	6,875,000
交付金事業の担当課室	越前町商工観光課		
交付金事業の評価課室	越前町商工観光課		

事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
4 1	給付金加算等措置	越前町給付金交付事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		越前町		
交付金事業実施場所	福井県丹生郡越前町 越前地区全域			
交付金事業の概要	原子力発電施設等の設置および運転の円滑化に資するため、一般電気事業者等から電気の供給を受けている住民・企業等に対し、給付金を交付しています。			
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	電力会社から電力の供給を受けている家庭や企業に対し給付金を交付し、原子力発電の理解促進および地域の振興と住民福祉の向上を図ります。 目標：原子力発電に対する地域住民の理解促進			
事業開始年度	令和2年度		事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由	—			

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和2年度
	越前町内において、小売電気業者等から電気の供給を受けている一般家庭や工場等に給付金を交付することにより当該地区の一層の振興および地域住民の福祉の向上を図ります。		成果実績					
			目標値					
			達成度					
	評価年度の設定理由							
	—							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	継続して事業を実施することにより地域住民の福祉の向上につながりました。							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	30年度	元年度	2年度	
	給付金の交付口数（電灯需要家）	活動実績	口	31,044	30,768	30,612		
		活動見込	口	31,848	31,980	31,848		
		達成度	%	97.4%	96.2%	96.1%		
	活動指標			単位	30年度	元年度	2年度	
	契約電力（kW）（電力需要家）	活動実績	kW	68,990	64,833	65,156		
		活動見込	kW	73,174	73,900	72,441		
		達成度	%	94.2%	87.7%	89.9%		

交付金事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備 考
総事業費	27, 325, 795	26, 404, 293	26, 340, 895	80, 070, 983
交付金充当額	27, 000, 000	26, 404, 293	26, 340, 895	79, 745, 188
うち文部科学省分	4, 376, 000	3, 925, 315	4, 062, 424	12, 363, 739
うち経済産業省分	22, 624, 000	22, 478, 978	22, 278, 471	67, 381, 449
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
原子力立地給付金等交付	随意契約	一般社団法人 電源地域振興センター	26, 340, 895	
交付金事業の担当課室	越前町企画財政課			
交付金事業の評価課室	越前町企画財政課			

事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
4 2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	簡易水道事業（菅浜簡易水道建設改良事業）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		美浜町		
交付金事業実施場所		美浜町菅浜地係		
交付金事業の概要		住民に安心安全な水道水を提供するため、老朽化により多くの漏水が発生している菅浜地区の簡易水道施設について、布設替工事を実施しました。 配水管布設替工事 L＝448m 配水管布設替工事实施設計業務 N＝一式		
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関する主要政策・施策：第五次美浜町総合振興計画 基本目標 5 快適で安全安心なまち 2 水道・下水道の整備 1) 住民ニーズを反映した水道事業の整備 ・管路・施設の計画的・効率的な耐震化工事を実施します。 ・水源水量に余裕のない東部及び菅浜簡易水道に上水道の余剰水を供給することにより、産業団地や住宅団地の整備など変化する水需要に対応し、安心して安定した水道水の供給を図るための施設整備を推進します。 目標：基幹管路耐震化率 50.0%（令和2年度）		
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由		－		

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和2年度
	基幹管路耐震化率 50%	基幹管路耐震化率： （ポリエチレン管＋ダクタイル 鋳鉄管）／総延長	成果実績	%	50			
			目標値	%	50			
			達成度	%	100.0%			
	評価年度の設定理由							
	—							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	—							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無								
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度	
	水道管の布設延長		活動実績	m	448			
			活動見込	m	509			
			達成度	%	88.0%			
	配水管布設工事実施設計 業務		活動実績	式	1			
			活動見込	式	1			
			達成度	%	100.0%			
交付金事業の総事業費 等	2年度	年度	年度	備 考				
総事業費	43,786,000							
交付金充当額	34,500,000							
うち文部科学省分	34,500,000							
うち経済産業省分	0							

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
配水管布設替工事	指名競争入札	イワタニセントラル北陸 (株)敦賀支店	16, 042, 000
配水管布設替工事	指名競争入札	(有)宮川住設	22, 794, 000
配水管布設替工事 実施設計業務	指名競争入札	(株)エフウォーターマネジ メント嶺南事務所	4, 950, 000
交付金事業の担当課室	美浜町上下水道課		
交付金事業の評価課室	美浜町上下水道課		

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
43	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	美浜町上水道統合整備事業基金造成		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		美浜町		
交付金事業実施場所		美浜町菅浜、竹波、丹生地係		
交付金事業の概要		老朽化により多くの漏水が発生している菅浜、竹波、丹生地区の簡易水道施設について、布設替工事等を実施するため、事業の実施に必要な財源として基金を造成しました。		
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関する主要政策・施策：第五次美浜町総合振興計画 基本目標 5 快適で安全安心なまち 2 水道・下水道の整備 1) 住民ニーズを反映した水道事業の整備 ・管路・施設の計画的・効率的な耐震化工事を実施します。 ・水源水量に余裕のない東部及び菅浜簡易水道に上水道の余剰水を供給することにより、産業団地や住宅団地の整備など変化する水需要に対応し、安心して安定した水道水の供給を図るための施設整備を推進します。 目標：基幹管路耐震化率 54.0%（令和5年度）		
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度	令和5年度
事業期間の設定理由		令和5年度に事業が完了するため		

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和5年度
	基幹管路耐震化率 54%	基幹管路耐震化率： (ポリエチレン管＋ダクタイル鋳鉄管) ／総延長	成果実績	%				
			目標値	%	54			
			達成度	%	0.0%			
	評価年度の設定理由							
	事業完了後に当該事業についての評価が可能となるため							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	—							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	2年度	年度	年度	
	基金造成 127,500,000円		活動実績	円	127,500,000			
			活動見込	円	127,500,000			
			達成度	%	100.0%			
交付金事業の総事業費等	2年度	年度		年度	備 考			
総事業費	127,500,000							
交付金充当額	127,500,000							
うち文部科学省分	127,500,000							
うち経済産業省分	0							

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
基金造成	積立	—	127,500,000
交付金事業の担当課室	美浜町上下水道課		
交付金事業の評価課室	美浜町上下水道課		

事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
4 4	地域活性化措置	若狭町社会教育施設維持運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		若狭町		
交付金事業実施場所		若狭町鳥浜		
交付金事業の概要		当町の社会教育施設の維持運営に本補助金を充当することにより、施設の健全な維持運営に努めるとともに、地域福祉並びに住民サービスの向上と活性化、地域資源を活用することによる来訪者増加を図ります。 ・若狭三方縄文博物館の職員7名の人件費9ヶ月分に活用しました。		
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第二次若狭町総合計画（平成30年度～令和4年度） 第3章 基本計画 第6部 自然・文化を後世へ継承するまちづくり 歴史資源を活用したまちづくり ②三方五湖の自然、文化遺産の活用		
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由		—		

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和2年度		
	縄文博物館の来館者 30,000人	縄文博物館の来館者数（人/年）	成果実績	人	28,948		
			目標値	人	30,000		
			達成度	%	96.4%		
	評価年度の設定理由						
	—						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	新型コロナウイルス感染症の影響により、来館者は28,948人となり目標を下回ったものの、多くの人に縄文に対する関心を広めるとともに、郷土の文化を広く啓発することができました。引き続き、充実したサービスの提供をおこなうことで、来館者数の向上を図り、地域の活性化につなげていきます。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	30年度	元年度	2年度
	社会教育施設職員の雇用量（雇用人数（人）×雇用期間（月））		活動実績	人月	80	80	63
			活動見込	人月	80	80	63
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%

交付金事業の総事業費等	30年度	元年度	2年度	備 考
総事業費	34, 767, 083	36, 256, 232	26, 572, 955	97, 596, 270
交付金充当額	23, 000, 000	24, 110, 000	21, 800, 000	68, 910, 000
うち文部科学省分	21, 222, 000	21, 312, 000	18, 500, 000	61, 034, 000
うち経済産業省分	1, 778, 000	2, 798, 000	3, 300, 000	7, 876, 000
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
職員人件費	雇用	職員	26, 572, 955	
交付金事業の担当課室	若狭町歴史文化課			
交付金事業の評価課室	若狭町政策推進課			

事業評価個表（令和２年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
4 5	地域活性化措置	パレア若狭維持運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		若狭町
交付金事業実施場所	若狭町市場	
交付金事業の概要	当町の施設であるパレア若狭の維持運営に本補助金を充当することにより、施設の健全な維持運営に努めるとともに、施設の魅力と価値を高め、誰もが利用しやすい施設・設備を整備することで、満足度・利便性の向上を図ります。 ・パレア若狭の職員5人の人件費9ヶ月分に活用しました。	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第二次若狭町総合計画（平成30年度～令和4年度） 第3章 基本計画 第6部 自然・文化を後世へ継承するまちづくり 芸術、文化の振興 ②芸術、文化活動の拡充	

事業開始年度	令和2年度			事業終了（予定）年度		令和2年度	
事業期間の設定理由	—						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和2年度		
	自主・共催事業 （コンサートや講演等） 9回	自主・共催事業 （コンサートや講演等）の回数	成果実績	回	10		
			目標値	回	9		
			達成度	%	111.1%		
	評価年度の設定理由						
	—						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	若狭町の文化・芸術振興の拠点であるパレア若狭において、年10回の自主・共催事業を開催し、質の高い文化サービスの提供と町民の文化振興に寄与することができました。今後も、自主・共催事業を開催することで、文化の振興を図るとともに、質の高い充実した文化サービスの提供に努めていきます。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	30年度	元年度	2年度
	パレア若狭職員の雇用量 （雇用人数（人）×雇用期間（月））		活動実績	人月	57	50	45
			活動見込	人月	60	50	45
			達成度	%	95.0%	100.0%	100.0%

交付金事業の総事業費等	30年度	元年度	2年度	備 考
総事業費	24, 748, 999	20, 815, 878	19, 093, 634	64, 658, 511
交付金充当額	15, 000, 000	14, 000, 000	14, 430, 000	43, 430, 000
うち文部科学省分	0	0	11, 015, 000	11, 015, 000
うち経済産業省分	15, 000, 000	14, 000, 000	3, 415, 000	32, 415, 000
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
職員人件費	雇用	職員	19, 093, 634	
交付金事業の担当課室	若狭町パレオ文化課			
交付金事業の評価課室	若狭町政策推進課			

事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
4 6	地域活性化措置	若狭町保育所維持運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		若狭町		
交付金事業実施場所		若狭町井崎ほか6件		
交付金事業の概要		当町の施設である保育所の維持運営に本補助金を充当することにより、保育士を充足し受け入れ態勢を整備することで、子どもの支援や、親の支援としての効果的なサービスの実施、また保育サービスの情報提供や保育の充実に努めます。 ・若狭町内保育所（園）の保育士・調理員人件費（7保育所（園）・保育士38名、調理員8名）9ヶ月分に活用しました。		
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第二次若狭町総合計画（平成30年度～令和4年度） 第3章 基本計画 第4部 心豊かな感性を育むまちづくり 安心できる子育て環境づくり ①子育て・教育環境の充実		
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度
事業期間の設定理由		—		

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和2年度		
	待機児童数 0人	待機児童数 (人/年)	成果実績	人	0		
			目標値	人	0		
			達成度	%	100.0%		
	評価年度の設定理由						
	—						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	待機児童0人を維持することができ、保育サービスの充実を図ることができました。 引き続き、待機児童0人を維持し、充実した保育サービスの提供に努めていきます。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	30年度	元年度	2年度
	保育所（園）職員雇用量 (雇用人数（人）×雇用 期間（月）)	活動実績	人月	462	443	414	
		活動見込	人月	480	450	414	
		達成度	%	96.2%	98.4%	100.0%	

交付金事業の総事業費等	30年度	元年度	2年度	備 考
総事業費	170, 946, 210	167, 488, 446	156, 183, 052	494, 617, 708
交付金充当額	124, 470, 000	140, 746, 000	147, 374, 000	412, 590, 000
うち文部科学省分	0	0	0	0
うち経済産業省分	124, 470, 000	140, 746, 000	147, 374, 000	412, 590, 000
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
職員人件費	雇用	保育士・調理員	156, 183, 052	
交付金事業の担当課室	若狭町子ども・若者支援室			
交付金事業の評価課室	若狭町政策推進課			

令和２年度評価事業分（過年度事業）

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	水路整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	大野市
交付金事業の成果目標	山原用水路改良率 26.0%
交付金事業の成果指標	山原用水路改良率
評価年度	令和2年度
成果実績	3.70%
目標値	26.0%
達成度（%）	14.2%
評価年度の設定理由	第五次大野市総合計画（平成23年度～令和2年度）の施策として水路整備事業計画があるため、第五次大野市総合計画期間と合わせ、評価年度を令和2年度に設定しました。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	山原用水路の老朽化により漏水が発生し、付近の住居や田畑に浸水被害がでるなど、計画的な整備を行うことが必要な状況でした。山原用水路の整備を実施することにより、浸水被害の防止を図るとともに環境保全と市民生活の向上を図るため、平成30年度に地元住民との協議を行うにあたっての工法検討のための調査を実施しましたが、調査結果と地元住民との協議結果や利用状況からして、改良可能区間は少なく、目標改良率が26%ではなく3.7%ということが判明しました。地元住民と協議を重ね、令和2年度に改良工事を行った結果、地元住民も納得のいく生活を送ることができており、環境保全と市民生活の向上を図ることができました。
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	市営バス和泉３線車両 購入事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	大野市
交付金事業の成果目標	3,500人
交付金事業の成果指標	和泉３線年間乗客数
評価年度	令和2年度
成果実績	3,124人
目標値	3,500人
達成度（％）	89.3%
評価年度の設定理由	令和元年度にバス車両を購入しましたが、年度単位で評価が可能となることから、令和2年度を評価年度に設定しました。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	老朽化による損傷が激しかった市営バスの更新を行うことができ、利用者に対して安全、安心な運行を確保することができました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標値である年間乗客数3,500人には達しませんでした。引き続き地域住民や利用者に対して市営バスの乗車利用の呼びかけを積極的に行います。
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	菖蒲池簡易水道施設改良事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	大野市
交付金事業の成果目標	維持費C=1百万円/年減
交付金事業の成果指標	電気料や水質検査の維持管理費用
評価年度	令和2年度
成果実績	141,300円削減
目標値	1,000,000円削減（令和4年度）
達成度（%）	14.1%
評価年度の設定理由	令和元年度に本事業を完了しましたが、年度単位で評価が可能となることから令和2年度を評価年度として設定しました。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	菖蒲池簡易水道施設改良事業は、近隣の上水道と統合を見据えた連絡管整備であり、供給する上水道施設の安定した運転状況等を確認しながら徐々に移行する必要があります。事業完了から令和2年度まで順調に移行することができていることから、令和3年度末の上下水道と統合にかかる変更認可後は、電力や法的水質検査が削減され、目標額の達成が見込まれます。
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
地域活性化措置	中村家資料収蔵庫整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	南越前町
交付金事業の成果目標	文化財の活用 3回/年
交付金事業の成果指標	中村家特別公開日における特別展での文化財資料の活用回数
評価年度	令和2年度
成果実績	0回
目標値	3回
達成度 (%)	0.0%
評価年度の設定理由	平成30年度に貴重な文化財資料を適切に管理する資料収蔵庫の整備を行い、委員会での検討結果をもとに活用を実施した後、評価を行うためです。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	令和元年度より（公財）冬青舎中村家保存会（重要文化財中村家住宅保存活用計画検討委員会）において、重要文化財（建造物）である中村家住宅の保存・継承方針を検討しました。 同委員会では収蔵庫内資料の活用についても検討が行われ、令和2年度に資料活用を見込んでいましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により実施を見送ることとなり、資料の公開には至りませんでした。 現在は、平成30年度に同事業で整備した除湿器・空調機器などにより、古文書など約4万点の貴重な資料が適切な環境下において保存されており、整備の効果は十分に発揮されています。 中村家住宅については現在建物全体の保存修理工事を行っており、工事完了後（令和6年度）の一般公開において、収蔵品についても住宅内に展示を行うことで、建物の技術的・意匠的価値と併せて歴史や文化を体感できる観光資源として、地域の振興・発展につなげ、引き続き河野北前船の歴史の継承に努めます。
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	白浜(城崎)漁港改良事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	越前町
交付金事業の成果目標	0件
交付金事業の成果指標	住民からの苦情等発生件数
評価年度	令和2年度
成果実績	0件(令和2年度)
目標値	地元住民からの苦情等発生件数0件(令和2年度)
達成度 (%)	100%
評価年度の設定理由	当該事業は令和元年度まで当該地域で整備事業を実施しており、事業完了の翌年度(令和2年度)に評価することができるためです。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	-
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
福祉対策措置	越前地域福祉センター改修事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	越前町
交付金事業の成果目標	施設利用者の維持
交付金事業の成果指標	施設利用者数を集計
評価年度	令和2年度
成果実績	23, 353人
目標値	年間利用者数32, 000人
達成度 (%)	73. 0%
評価年度の設定理由	当該事業は令和元年度に実施したもので、整備完了の翌年度（令和2年度）から成果が見込まれるためです。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言期間中は閉館していたことや、長期間に渡る不要不急の外出自粛の呼びかけの影響もあり、令和2年度の施設利用者数は23, 353人となりました。入場制限などの感染症対策と並行して観光支援策や消費喚起策を実施し、利用客数の回復を図りましたが、元の水準には戻っていません。今後は積極的に施設を利用してもらえよう非接触型の体温計の設置、適切な消毒などの感染症対策を続けていき、利用者数の確保を図ります。
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	観光施設管理運営事業(越前がにミュージアム冷凍庫更新)
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	越前町
交付金事業の成果目標	施設利用者の維持
交付金事業の成果指標	施設利用者数を集計
評価年度	令和2年度
成果実績	33,785人(R2)
目標値	年間利用者数27,000人
達成度(%)	125.1%
評価年度の設定理由	当該事業は令和元年度に実施したものであり、整備完了の翌年度(令和2年度)から成果が見込まれるためです。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	－
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	管理公社管理観光施設改修事業(アクティブハウス越前修繕)
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	越前町
交付金事業の成果目標	施設利用者の増加
交付金事業の成果指標	施設利用者数を集計
評価年度	令和2年度
成果実績	7,685人(R2)
目標値	年間利用者数13,000人
達成度(%)	59.1%
評価年度の設定理由	当該事業は令和元年度に実施したものであり、整備完了の翌年度(令和2年度)から成果が見込まれるためです。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言期間中は閉館していたことや、長期間に渡る不要不急の外出自粛の呼びかけの影響もあり、令和2年度の施設利用者数は7,685人となりました。入場制限などの感染症対策と並行して観光支援策や消費喚起策を実施し、利用客数の回復を図りましたが、元の水準には戻っていません。今後は積極的に施設を利用してもらえよう非接触型の体温計の設置、適切な消毒などの感染症対策を続けていき、利用者数の確保を図ります。
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	管理公社管理観光施設改修事業(越前温泉露天風呂漁火屋外誘導看板設置)
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	越前町
交付金事業の成果目標	施設利用者の増加
交付金事業の成果指標	施設利用者数を集計
評価年度	令和2年度
成果実績	55,375人(R2)
目標値	年間利用者数88,000人
達成度(%)	62.9%
評価年度の設定理由	当該事業は令和元年度に実施したものであり、整備完了の翌年度(令和2年度)から成果が見込まれるためです。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言期間中は閉館していたことや、長期間に渡る不要不急の外出自粛の呼びかけの影響もあり、令和2年度の施設利用者数は55,375人となりました。入場制限などの感染症対策と並行して観光支援策や消費喚起策を実施し、利用客数の回復を図りましたが、元の水準には戻っていません。今後は積極的に施設を利用してもらえよう非接触型の体温計の設置、適切な消毒などの感染症対策を続けていき、利用者数の確保を図ります。
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	管理公社管理観光施設改修事業(越前温泉露天風呂漁火券売機更新)
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	越前町
交付金事業の成果目標	施設利用者の増加
交付金事業の成果指標	施設利用者数を集計
評価年度	令和2年度
成果実績	55,375人(R2)
目標値	年間利用者数88,000人
達成度(%)	62.9%
評価年度の設定理由	当該事業は令和元年度に実施したものであり、整備完了の翌年度(令和2年度)から成果が見込まれるためです。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言期間中は閉館していたことや、長期間に渡る不要不急の外出自粛の呼びかけの影響もあり、令和2年度の施設利用者数は55,375人となりました。入場制限などの感染症対策と並行して観光支援策や消費喚起策を実施し、利用客数の回復を図りましたが、元の水準には戻っていません。今後は積極的に施設を利用してもらえよう非接触型の体温計の設置、適切な消毒などの感染症対策を続けていき、利用者数の確保を図ります。
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営措置	簡易水道施設管理事業(梅浦導水弁電動操作機取替工事)
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	越前町
交付金事業の成果目標	6月から10月の導水ポンプの動力費用低減5%
交付金事業の成果指標	令和2年6月から10月の電気料/令和元年6月から10月の電気料
評価年度	令和2年度
成果実績	95.85%
目標値	95.00%
達成度 (%)	83.0%
評価年度の設定理由	当該事業は令和元年度に実施したものであり、整備完了の翌年度（令和2年度）から成果が見込まれるためです。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	本事業の実施により導水ポンプの動力費用の低減を図りましたが、令和2年度は、例年と比べ水源の水量が少なく導水ポンプを頻繁に稼働させる必要があったため、動力費用の削減は目標値を下回る結果となりました。導水ポンプの稼働頻度が例年よりも多いにも関わらず、動力費用の低減効果は見られたことから、今後は誤作動防止のための監視を引続き行い、安定した原水流入量を確保し、良質な水の供給を図ります。
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営措置	簡易水道施設管理事業(布殿浄水場次亜貯蔵槽取替工事)
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	越前町
交付金事業の成果目標	薬品漏れによる事故発生率0件
交付金事業の成果指標	該当施設からの薬品漏れによる事故発生率0件
評価年度	令和2年度
成果実績	0件
目標値	0件
達成度 (%)	100.0%
評価年度の設定理由	当該事業は令和元年度に実施したものであり、整備完了の翌年度（令和2年度）から成果が見込まれるためです。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	-
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営措置	簡易水道施設管理事業(布殿浄水場膜ろ過用エア作動弁更新工事)
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	越前町
交付金事業の成果目標	設備の停止事故0件
交付金事業の成果指標	該当施設の誤作動等による停止事故0件
評価年度	令和2年度
成果実績	0件
目標値	0件
達成度 (%)	100.0%
評価年度の設定理由	当該事業は令和元年度に実施したものであり、整備完了の翌年度（令和2年度）から成果が見込まれるためです。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	—
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営措置	簡易水道施設管理事業（米ノ浄水場急速ろ過機ろ過砂交換工事）
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	越前町
交付金事業の成果目標	住民からの苦情件数0件
交付金事業の成果指標	水質に関する苦情件数0件
評価年度	令和2年度
成果実績	0件
目標値	0件
達成度（%）	100.0%
評価年度の設定理由	当該事業は令和元年度に実施したものであり、整備完了の翌年度（令和2年度）から成果が見込まれるためです。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	—
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営措置	簡易水道施設管理事業（米ノ浄水場原水流入弁更新工事）
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	越前町
交付金事業の成果目標	送水停止件数0件
交付金事業の成果指標	原水流入の不具合による住民への送水の停止件数0件
評価年度	令和2年度
成果実績	0件
目標値	0件
達成度（%）	100.0%
評価年度の設定理由	当該事業は令和元年度に実施したものであり、整備完了の翌年度（令和2年度）から成果が見込まれるためです。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	—
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	町道日向線道路改良事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	美浜町
交付金事業の成果目標	工事後船揚場に対する住民苦情件数 0件
交付金事業の成果指標	苦情件数
評価年度	令和2年度
成果実績	0件
目標値	0件
達成度 (%)	100.0%
評価年度の設定理由	平成30年度から実施していた町道日向線道路改良事業が令和2年度に全工程を完了し評価が可能となるためです。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	事業実施により町道の拡幅工事が完了し、地域住民の安全確保や利便性向上が図られ、かつ、船揚場の機能維持・利便性向上を図ることができました。
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無